

コロナ禍の影響に関する志木市全世帯意識調査
【報告書】

令和4年3月
志木市

目次

1章 調査の目的	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 調査内容.....	1
4 調査結果の留意点.....	2
2章 調査結果に基づく分析	3
1 調査結果及び特徴.....	3
2 調査結果から見る今後の支援策.....	5
3章 単純集計結果	7
1 あなた（回答者）の世帯について.....	7
2 新型コロナウイルス感染症による影響について.....	9
3 市の施策について.....	35
参考資料（調査票）	39

1章 調査の目的

1 調査の目的

新型コロナウイルス感染症は、全国で猛威をふるい、健康面や経済面などあらゆる分野で大きな影響を及ぼしており、本市においても、長期化するコロナ禍により市民生活や地域経済はかつてないほどの影響を受けている。このような状況を受け、コロナ禍によって生活がどのように変化し、どのような施策や事業が必要なのか、市民の皆様の声をお伺いし、分析することで今後の施策や事業立案の基礎資料とするため、全世帯を対象とした意識調査を実施するものである。

2 調査の概要

調査概要は以下のとおりである。

実施期間	令和3年10月25日(月)～令和3年11月22日(月)
調査地域	志木市全域
調査対象	全世帯(事業所含む)
調査方法	配達地域指定郵便により全世帯及び事業所に発送。回収は以下の2通り。 ①同封した返信用封筒による回収 ②インターネット回答
対象者数(配布数)	35,586件
有効回収数	①紙回答:9,478件 ②ネット回答:3,905件 計:13,383件
有効回収率	37.6%

3 調査内容

調査内容は以下のとおりである。

1	あなた(回答者)の世帯について	<ul style="list-style-type: none">・世帯人数・居住地域・職業
2	新型コロナウイルス感染症による影響について	<ul style="list-style-type: none">・収入状況・テレワークの実施状況・生活の変化・コロナ禍での困りごと・心配ごと・ボランティア活動・地域活動への参加状況・商店等の利用・交通手段
3	市の施策について	<ul style="list-style-type: none">・市独自の緊急対策の評価・重点的に取り組むべき施策

4 調査結果の留意点

調査結果の留意点は以下のとおりである。

①	<p>単数回答（SA）の場合の集計及び表示</p> <ul style="list-style-type: none">• 選択肢の中から「1つ選択」と記載したものが対象となります。• 単数回答の場合、選択肢の合計（無回答含む）と「回答者数」の値とが一致します。• パーセンテージ（％）の合計も100%となります。• グラフは、円グラフを使用しています。
②	<p>複数回答（MA）の場合の集計及び表示</p> <ul style="list-style-type: none">• 選択肢の中から「すべて選択」と記載したものが対象となります。• 複数回答の場合、選択肢の合計（無回答を含む）と回答者数とは一致しません。• パーセンテージ（％）は、各々の回答数を「回答者数」で除した値であり、合計値は100%になりません。
③	<p>パーセンテージ（％）の算出及び表示</p> <ul style="list-style-type: none">• パーセンテージ（％）は表内の各項目の値を「全体」の値で除して算出しています。• 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。• 図表中の「N」は、該当設問における有効回答者数を表します。

2章 調査結果に基づく分析

1 調査結果及び特徴

調査結果及び特徴は以下のとおりである。

設問		結果及び特徴
1 あなた (回答者) の世帯について	基本属性 (問1～問3)	<ul style="list-style-type: none"> 世帯人数は、「2人」が最も多く、次いで「1人」、「3人」の順となっている。 居住地域は、「本町」が最も多く、次いで「柏町」、「幸町」の順となっている。 職業は、「会社員・団体職員(役員含む)」が最も多く、次いで「働いている人はいない」、「自営業」の順となっている。
	収入状況 (問4～問4-2)	<ul style="list-style-type: none"> 収入状況については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて「変わらない」と回答した割合が最も高かったものの、「減った」と回答した割合もおおよそ2割であり、その理由については新型コロナウイルス感染症の影響によるものが多く、特に「勤務先の経営状況の悪化」が最も多い。
	テレワークの実施状況 (問5～問5-1)	<ul style="list-style-type: none"> テレワークの実施状況については、「実施していない」が最も多く、その理由として「業種上、テレワークが困難」が最も多い。 職業別では、会社員・団体職員(役員含む)では、おおよそ5割がテレワークを実施している。
2 新型 コロナ ウイルス 感染症 による 影響 について	生活の変化 (問6)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前後での生活の変化については、外出では、「旅行や観光など娯楽のための外出」が大幅に減少している。 健康面では、「運動量」が減少した割合は高いものの、おおよそ4割が変わらない、または増加しているほか、「健康について考える機会」が増加しており、健康に対する意識が高まっている。 「電子マネーの利用」については、おおよそ6割の世帯が利用しており、一般的な決済手段の一つとして利用されている。
	コロナ禍での 困りごと・心配ごと (問7～問9)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での困りごと・心配ごとについては、全体では「外出制限による交流機会などの減少」が最も多い。 未就学児から18歳未満の子どもがいる世帯では、「遠足や運動会などの園の行事が減った」、「学校行事やクラブ活動が減った」、「学校行事や部活動が減った」が最も多く、未就学児の子どもがいる世帯では、「保護者同士でのコミュニケーションが減った」、小学生から18歳未満の子どもがいる世帯では、「子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた」が2番目に多い。 子どもの年齢が上がるにつれて「授業時間の減少などにより、学習状況に不安がある」と回答した割合が増えている。 65歳以上の高齢者がいる世帯では、「外出したり、屋外で運動することが減った」が最も多く、次いで「ご近所の方や友達と会話などのコミュニケーションが減った」、「家にこもりがちになった」の順となっている。

	ボランティア活動・地域活動への参加状況 (問10～問11)	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動・地域活動への参加状況については、「以前は参加していた」を含め、参加回数が減った理由のうち、新型コロナウイルス感染症の影響によるものがおよそ7割を占めるとともに、65歳以上の高齢者がいる世帯についても、およそ5割と高い状況である。 コロナ禍におけるボランティア活動・地域活動への市に求める支援については、「特にない」が最も多く、次いで「消毒液や非接触型体温計などの感染症対策用品購入費の助成」、「新型コロナウイルス感染症対策に関する情報提供」の順となっている。
	商店等の利用 (問12～問12-2)	<ul style="list-style-type: none"> 商店等の利用について、「ネット通販」の利用は、他の利用に比べて「増えた」と回答した割合が高い。 「地域の商店街および個人商店等」については、「増えた」が最も低いが、「変わらない」と回答した割合と合わせると、およそ7割が利用している状況であり、利用が増えた理由は、「近隣に商店街や個人商店等がある」が最も多く、次いで「地域の商業や経済を支えたい」となっている。
	交通手段 (問13～問14)	<ul style="list-style-type: none"> 主な交通手段については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前後いずれも「徒歩」が最も多く、次いで「自家用車」、「自転車」の順となっている。 「電車」及び「路線バス」の利用については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に比べておよそ1割減少している。 期待する公共交通サービスについては、「路線バス」が最も多く、次いで「特にない」、「デマンド交通」の順となっている。
3市の施策について	市独自の緊急対策の評価 (問15)	<ul style="list-style-type: none"> 市独自の緊急対策については「水道料金の一律減額」が最も評価する割合が高く、次いで「プレミアム付商品券の発行」、「インフルエンザワクチン接種助成」の順となっている。
	重点的に取り組むべき施策 (問16)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として重点的に取り組むべき施策については、「生活困窮者のための支援」が最も多く、次いで「子育て世帯への支援」、「オンラインによる行政手続きや窓口相談等の『市役所に行かなくていい』仕組みづくり」の順となっている。

2 調査結果から見る今後の支援策

調査結果から、今後の支援策として9つのカテゴリーに反映した。

①	支援策	電子申請のさらなる推進
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 「電子マネーの利用」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後におよそ3割が「増えた」と回答。「変わらない」と回答した割合と合わせると、およそ6割が電子マネーを利用している。 ネット通販の利用は新型コロナウイルス感染症の感染拡大後におよそ4割が「増えた」と回答。「変わらない」と回答した割合と合わせると、およそ7割がネット通販を利用している。 市が重点的に取り組むべき施策として「オンラインによる行政手続きや窓口相談等の『市役所に行かなくていい』仕組みづくり」は2番目に高い。
②	支援策	生活困窮者（特にコロナ禍の影響による収入減となった世帯）のための支援
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大後に収入が「減った」と回答した割合はおよそ2割である。そのうち、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと回答した割合はおよそ8割である。 18歳未満の子どもがいる世帯で収入が「減った」と回答した割合はおよそ3割であり、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものはおよそ8割である。 コロナ禍での困りごと・心配ごとについて、「収入の減少」と回答した割合は全体ではおよそ2割である。 収入が「減った」と回答した世帯のうち、コロナ禍での困りごと・心配ごとについて、「収入の減少」と回答した割合はおよそ7割である。 市が重点的に取り組むべき施策として「生活困窮者のための支援」と回答した割合はおよそ4割と最も高い。また、収入が「減った」と回答した人のうち、「生活困窮者のための支援」と回答した割合は全体での割合より高い。
③	支援策	未就学児の子どもを持つ親への相談体制の強化
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯のうち、未就学児の子どもがいる世帯のコロナ禍での困りごと・心配ごとについて、「保護者同士でのコミュニケーションが減った」、「精神的に子育ての負担が増えた」と回答した割合は、他の世代の子育て世帯より高い。また、未就学児の子どもがいる世帯では、「人とのコミュニケーション」が「減った」とおよそ9割が回答。 未就学児の子どもがいる世帯では、ボランティア活動や地域活動が「新型コロナウイルス感染症の影響で活動が休止となった」とおよそ8割が回答。
④	支援策	小学生・中学生の子どもへの学習支援
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生の子どもがいる世帯のコロナ禍での困りごと・心配ごとについて、「授業時間の減少などにより、学習状況に不安がある」と回答した割合は、小学校はおよそ2割、中学校はおよそ3割と比較的高い。
⑤	支援策	小学生・中学生の子どもへのネットリテラシー教育
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生の子どもがいる世帯のコロナ禍での困りごと・心配ごとについて、「子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた」と回答した割合は、小学生・中学生ともにおよそ6割と高い。一方で「子どもと家族のコミュニケーションが減った」と回答した割合は、いずれも1割未満と低い。

⑥	支援策	高齢者の生きがいづくりの支援
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・65 歳以上の高齢者がいる世帯のうち、「旅行や観光などの娯楽のための外出」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大後におよそ 8 割が「減った」と回答。 ・65 歳以上の高齢者がいる世帯のうち、「人とのコミュニケーション」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大後におよそ 8 割が「減った」と回答。 ・65 歳以上の高齢者がいる世帯のコロナ禍での困りごと・心配ごとについて、「外出したり、屋外で運動することが減った」の割合が最も高く、次いで「ご近所の方や友達と会話などのコミュニケーションが減った」、「家にこもりがちになった」の順となっている。また、「外出したくない（外出させたくない）」と回答した割合も比較的高い。 ・65 歳以上の高齢者がいる世帯のうち、ボランティア活動や地域活動に「参加している」、「以前は参加していた」と回答した割合はおおよそ 4 割である。また、新型コロナウイルス感染症の影響による活動休止や参加を控えたと回答した割合はおおよそ 5 割である。 ・65 歳以上の高齢者がいる世帯のうち、コロナ禍において、ボランティア活動や地域活動に参加するために市への支援を求める割合はおおよそ 4 割である。
⑦	支援策	地域活動等の支援
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「人とのコミュニケーション」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後におよそ 8 割が「減った」と回答。 ・ボランティア活動や地域活動に「参加している」、「以前は参加していた」と回答した割合はおおよそ 3 割である。また、新型コロナウイルス感染症の影響による活動休止や参加を控えたと回答した割合はおおよそ 7 割である。 ・コロナ禍において、ボランティア活動や地域活動に参加するために市への支援を求める割合はおおよそ 4 割である。
⑧	支援策	運動する機会の提供
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動量」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後におよそ 5 割が「減った」と回答している一方で、「健康について考える機会」はおおよそ 5 割が「増えた」と回答している。 ・コロナ禍での困りごと・心配ごとにおいて、「スポーツ活動や文化活動の機会の減少」の割合は 2 番目に高い。
⑨	支援策	市内事業者への支援
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大後に「地域商店街および個人商店等」の利用が、「増えた」と回答した割合は 1 割未満と低いものの、「変わらない」と回答した割合と合わせると、おおよそ 7 割が「地域商店街および個人商店等」を利用している。また、「地域商店街および個人商店等」の利用が増えた理由では、「地域の商業や経済を支えたい」の割合が 2 番目に高い。 ・市独自の緊急対策で評価できる事業のうち、「プレミアム付商品券の発行」の割合は 2 番目に高い。

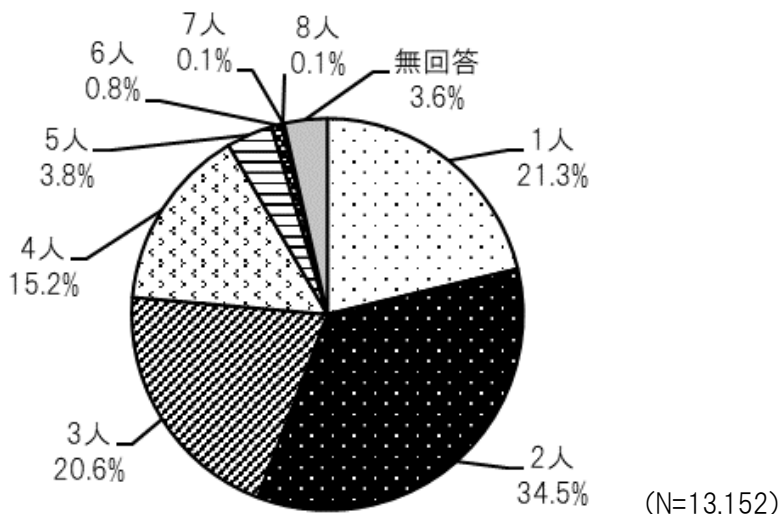
3章 単純集計結果

1 あなた（回答者）の世帯について

○世帯人数

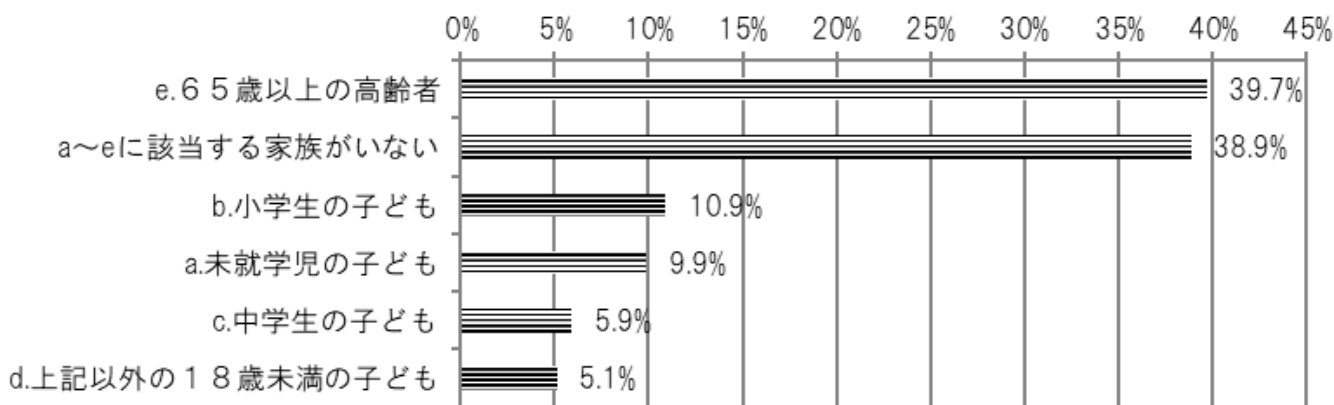
問1 あなたを含めた世帯の人数についておたずねします。

- 「2人」が34.5%と最も高く、次いで「1人」が21.3%、「3人」が20.6%、「4人」が15.2%となっている。



※ N=13,152は“2”（事業者である）と回答のあった231件を除く総数

- 「e.65歳以上の高齢者」がいる世帯が39.7%と最も高く、次いで「a~eに該当する家族がない」世帯が38.9%、「b.小学生の子ども」がいる世帯が10.9%、「a.未就学児の子ども」がいる世帯の割合が9.9%となっている。



※複数回答(MA)

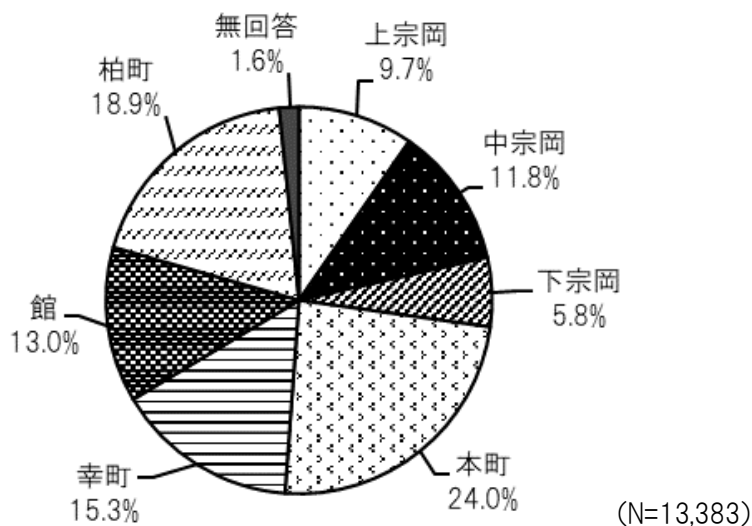
(N=12,685)

※ N=12,685は“2”（事業者である）と回答のあった231件、無回答467件を除く総数

○居住地

問2 あなたの世帯のお住まいの地域をおたずねします。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)

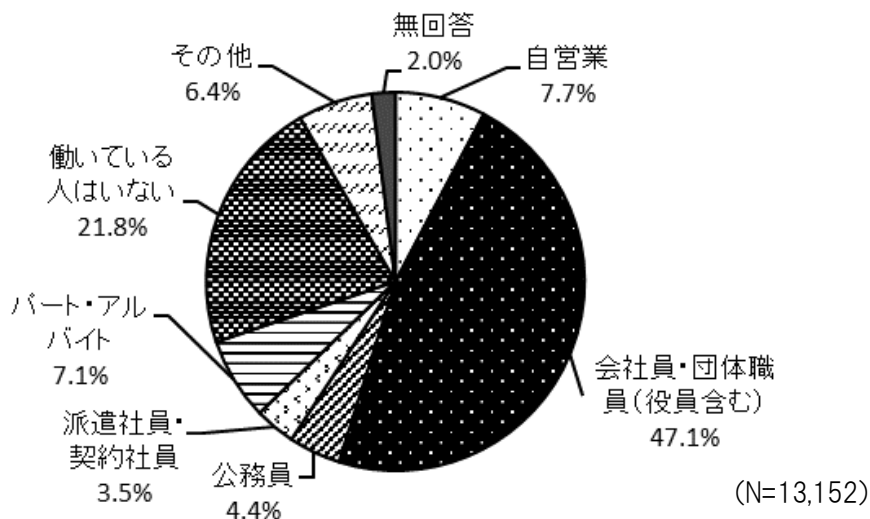
- 「本町」が24.0%と最も高く、次いで「柏町」が18.9%、「幸町」が15.3%、「館」が13.0%となっている。



○職業

問3 あなたの主な収入者のご職業をおたずねします。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)

- 「会社員・団体職員（役員含む）」が47.1%と最も高く、次いで「働いている人はいない」が21.8%、「自営業」が7.7%、「パート・アルバイト」が7.1%となっている。

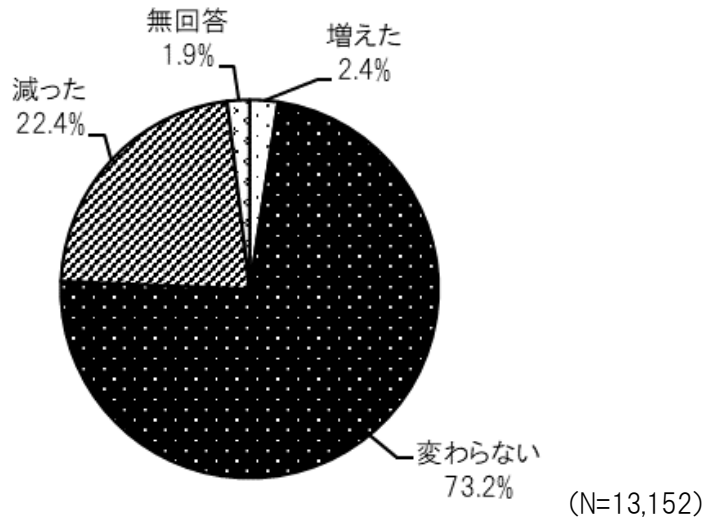


2 新型コロナウイルス感染症による影響について

○ 収入状況

問 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の主な収入者の収入は変わりましたか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)

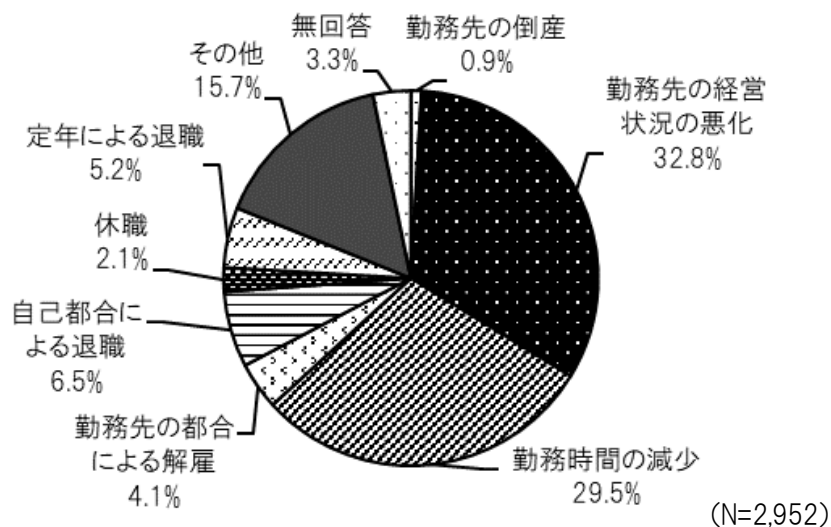
- 「変わらない」が73.2%と最も高く、次いで「減った」が22.4%、「増えた」が2.4%となっている。



問 4-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)

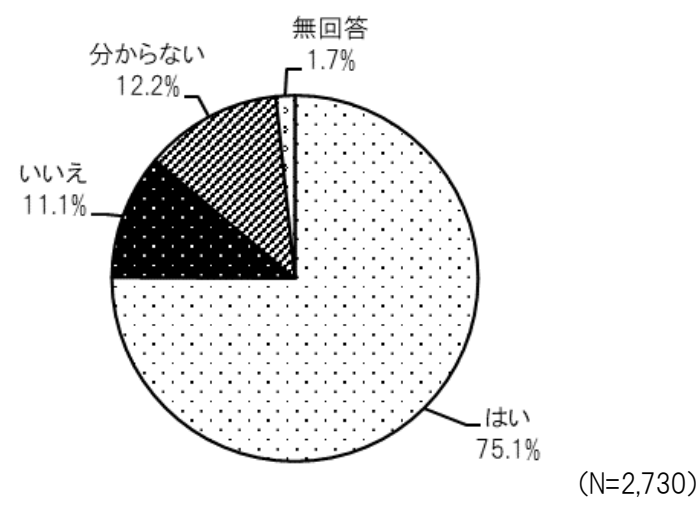
※問 4 で “3” (減った) を選択された方におたずねします。

- 「勤務先の経営状況の悪化」が32.8%と最も高く、次いで「勤務時間の減少」が29.5%、「自己都合による退職」が6.5%、「定年による退職」が5.2%となっている。



問4-2 その理由は新型コロナウイルス感染症の影響によるものですか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)
 ※問4-1で“1～6”および“8”(定年による退職、無回答以外)を選択された方におたずねします。

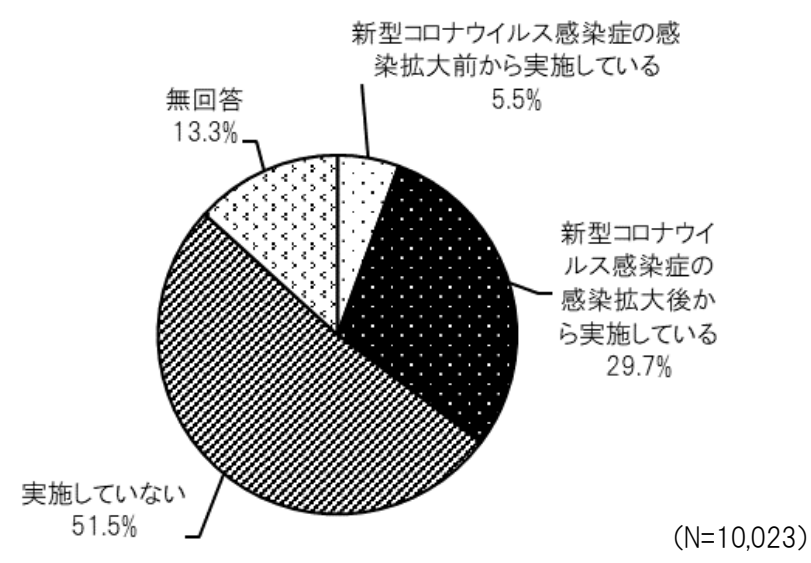
□ 「はい」が75.1%と最も高く、次いで「分からない」が12.2%、「いいえ」が11.1%となっている。



○テレワークの実施状況

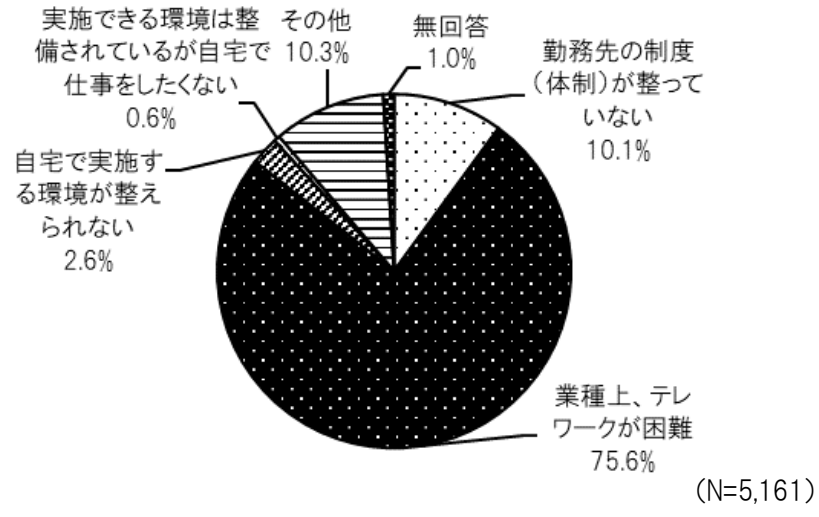
問5 あなたの世帯の主な収入者のテレワークの実施状況についておたずねします。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)
 ※問3で“1～5”および“7”(働いている人はいない、無回答以外)を選択された方におたずねします。

□ 「実施していない」が51.5%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症の感染拡大後から実施している」が29.7%、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大前から実施している」が5.5%となっている。



問5-1 実施していない理由は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)
 ※問5で“3”(実施していない)を選択された方におたずねします。

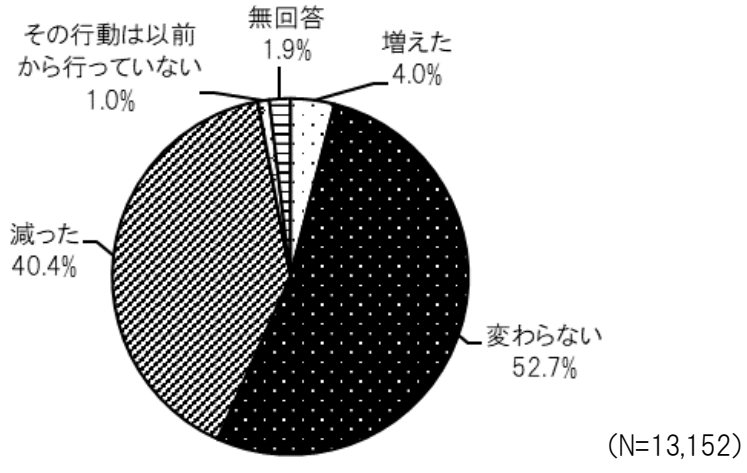
- 「業種上、テレワークが困難」が75.6%と最も高く、次いで「勤務先の制度(体制)が整っていない」が10.1%、「自宅で実施する環境が整えられない」が2.6%、「実施できる環境は整備されているが自宅で仕事をしたくない」が0.6%となっている。



○生活の変化

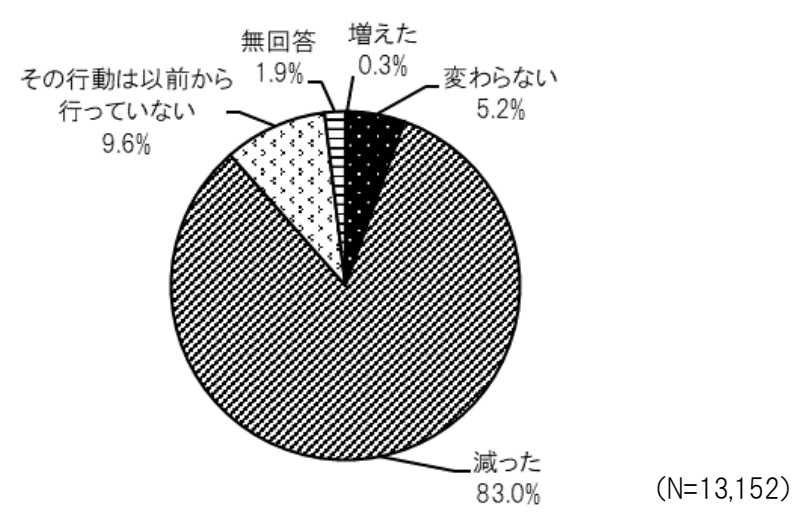
問6-a 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (a. 生活必需品などを購入するための外出)

- 「変わらない」が52.7%と最も高く、次いで「減った」が40.4%、「増えた」が4.0%、「その行動は以前から行っていない」が1.0%となっている。



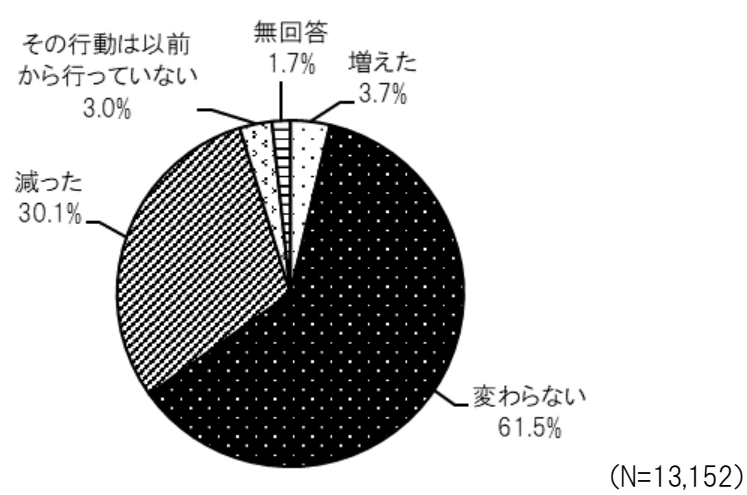
問6-b 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (b. 旅行や観光など娯楽のための外出)

- 「減った」が83.0%と最も高く、次いで「その行動は以前から行っていない」が9.6%、「変わらない」が5.2%、「増えた」が0.3%となっている。



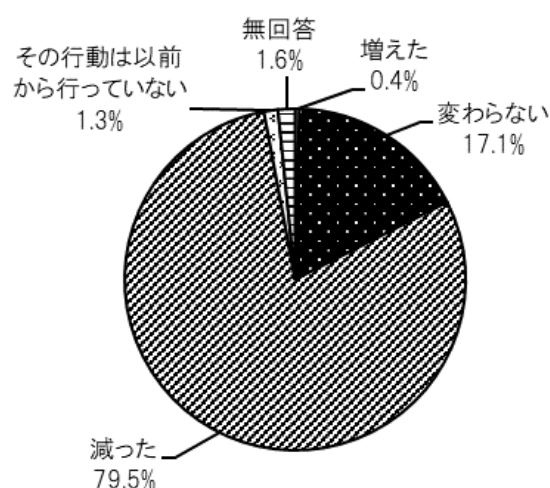
問6-c 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (c. 医療機関や健診を受診するための外出)

- 「変わらない」が61.5%と最も高く、次いで「減った」が30.1%、「増えた」が3.7%、「その行動は以前から行っていない」が3.0%となっている。



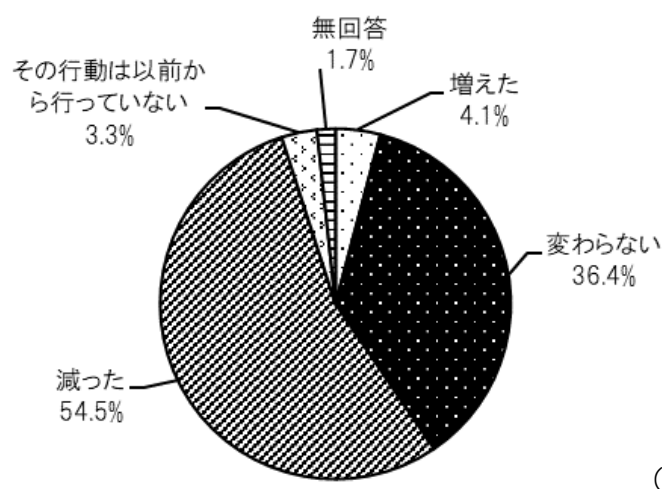
問6-d 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (d. 人とのコミュニケーション)

- 「減った」が79.5%と最も高く、次いで「変わらない」が17.1%、「その行動は以前から行っていない」が1.3%、「増えた」が0.4%となっている。



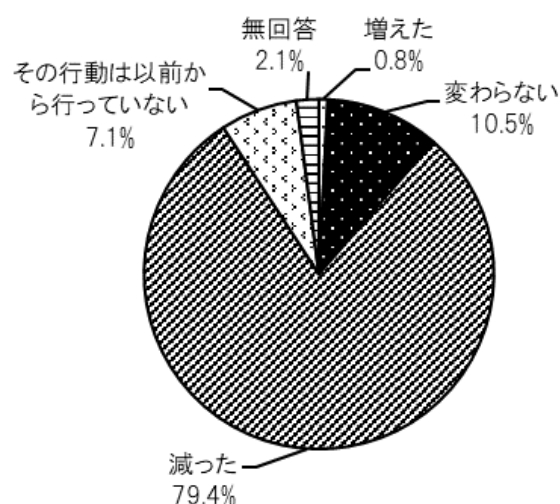
問6-e 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (e. 運動量)

- 「減った」が54.5%と最も高く、次いで「変わらない」が36.4%、「増えた」が4.1%、「その行動は以前から行っていない」が3.3%となっている。



問6-f 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (f. 外食)

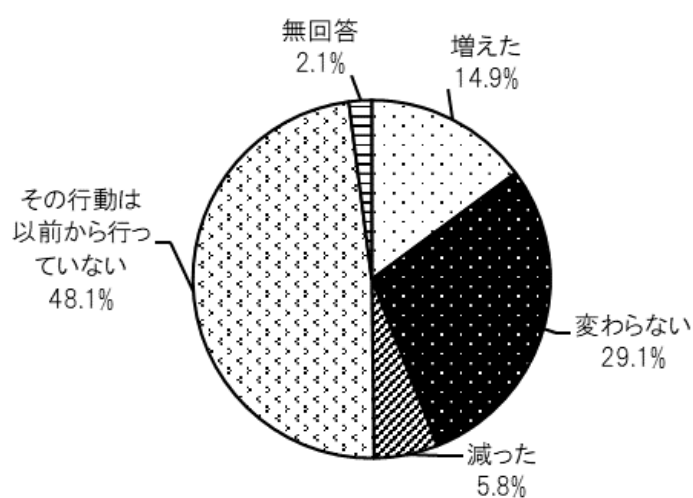
- 「減った」が79.4%と最も高く、次いで「変わらない」が10.5%、「その行動は以前から行っていない」が7.1%、「増えた」が0.8%となっている。



(N=13,152)

問6-g 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (g. デリバリー(出前)などの宅配サービスの利用)

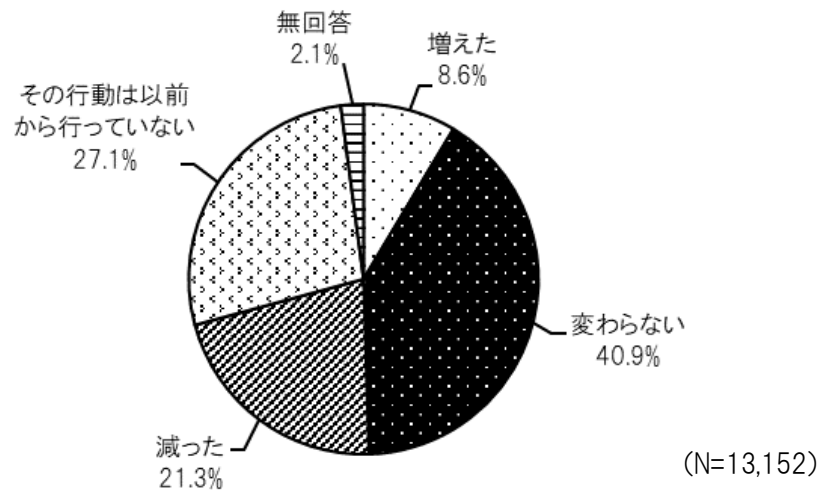
- 「その行動は以前から行っていない」が48.1%と最も高く、次いで「変わらない」が29.1%、「増えた」が14.9%、「減った」が5.8%となっている。



(N=13,152)

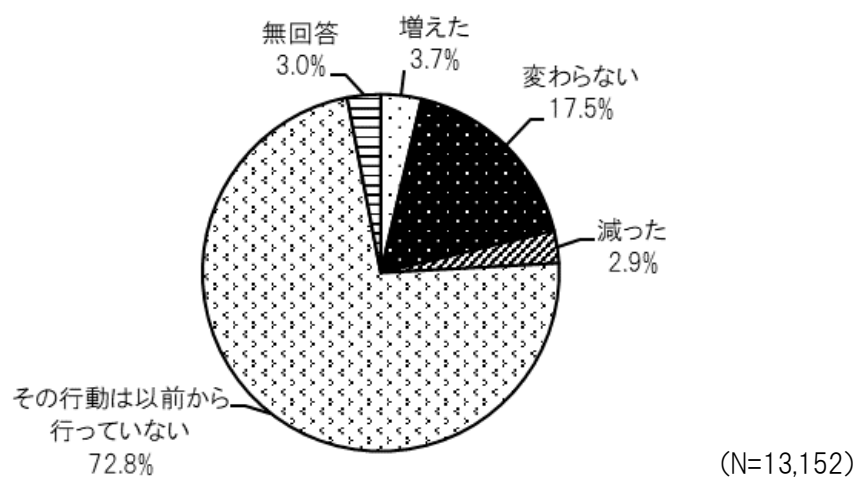
問6-h 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (h. 飲酒の量)

- 「変わらない」が40.9%と最も高く、次いで「その行動は以前から行っていない」が27.1%、「減った」が21.3%、「増えた」が8.6%となっている。



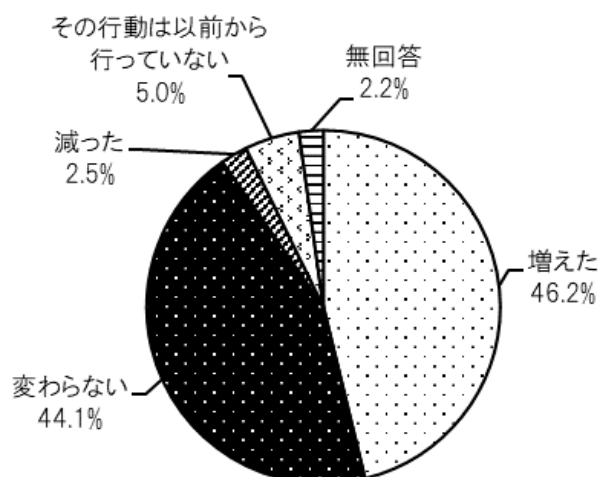
問6-i 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (i. 喫煙の量)

- 「その行動は以前から行っていない」が72.8%と最も高く、次いで「変わらない」が17.5%、「増えた」が3.7%、「減った」が2.9%となっている。



問6-j 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (j. 健康について考える機会)

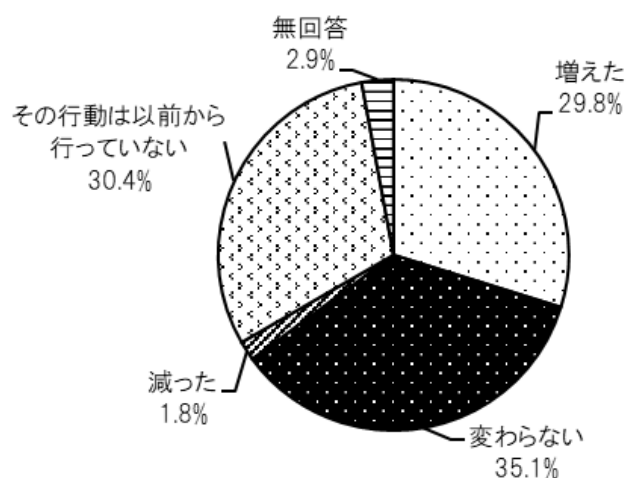
- 「増えた」が46.2%と最も高く、次いで「変わらない」が44.1%、「その行動は以前から行っていない」が5.0%、「減った」が2.5%となっている。



(N=13,152)

問6-k 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (k. 電子マネーの利用)

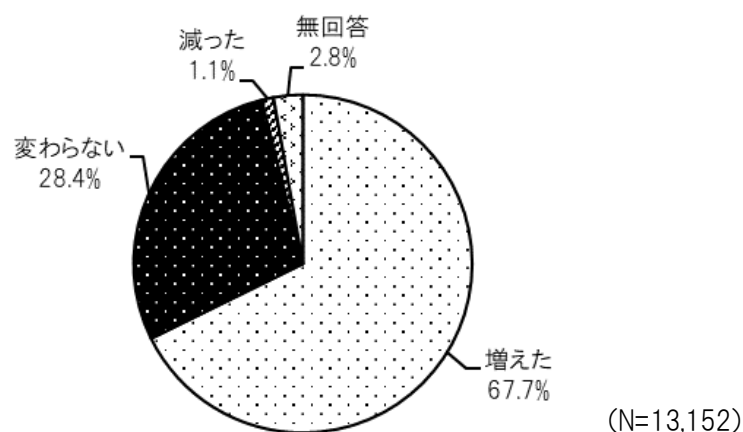
- 「変わらない」が35.1%と最も高く、次いで「その行動は以前から行っていない」が30.4%、「増えた」が29.8%、「減った」が1.8%となっている。



(N=13,152)

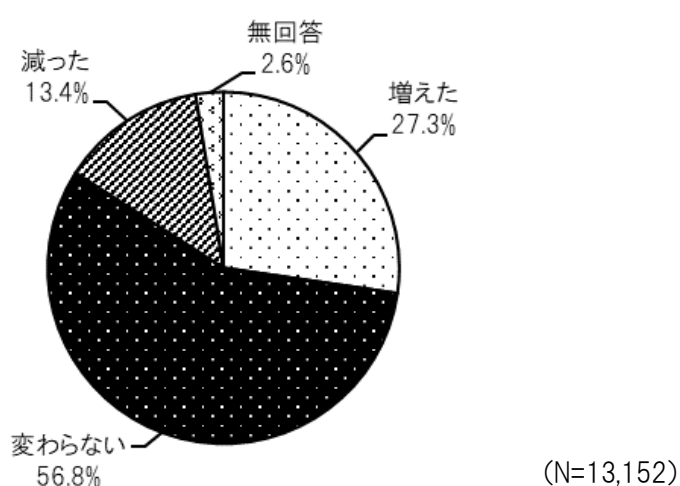
問6-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (1, 在宅時間)

□ 「増えた」が67.7%と最も高く、次いで「変わらない」が28.4%、「減った」が1.1%となっている。



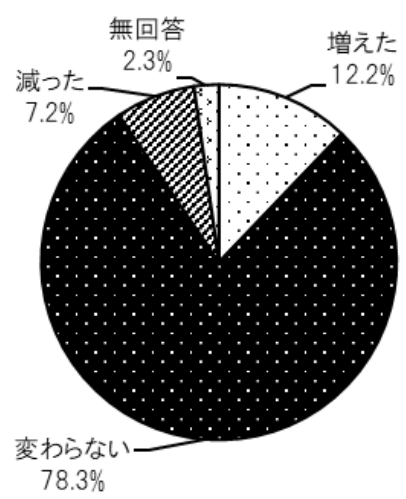
問6-m 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (m, 余暇等の自由な時間)

□ 「変わらない」が56.8%と最も高く、次いで「増えた」が27.3%、「減った」が13.4%となっている。



問6-n 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (n, 睡眠時間)

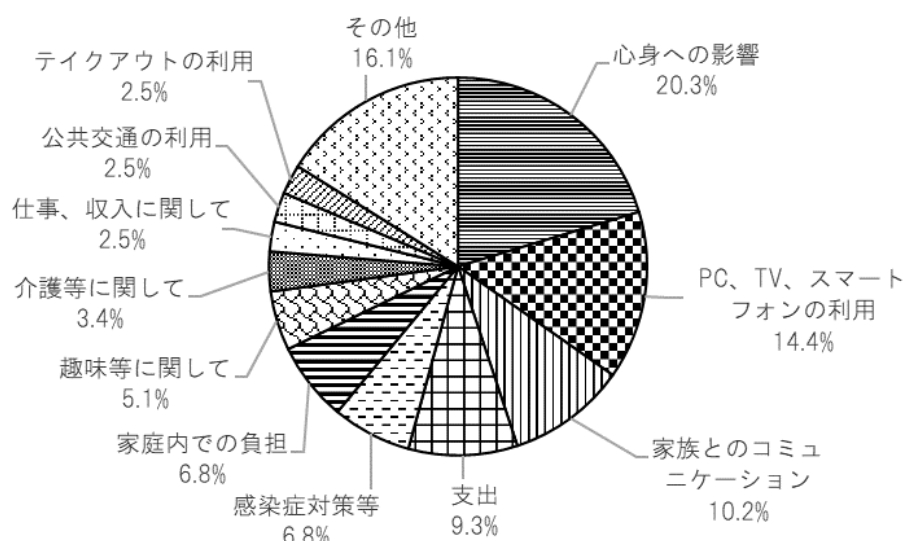
□ 「変わらない」が78.3%と最も高く、次いで「増えた」が12.2%、「減った」が7.2%となっている。



(N=13,152)

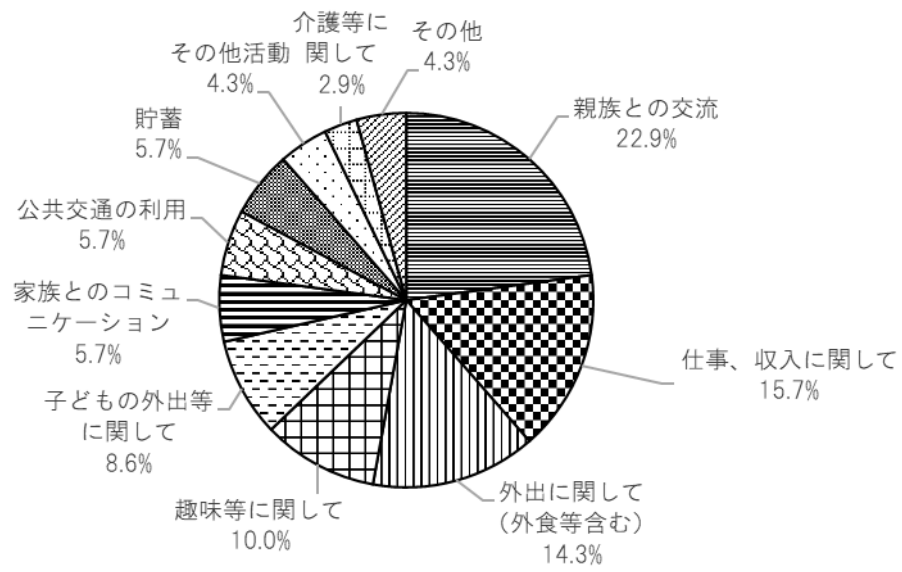
問6-o 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(o, その他)

□ 増えたものは以下のとおり分類された。



(N=118)

□ 減ったものは以下のとおり分類された。

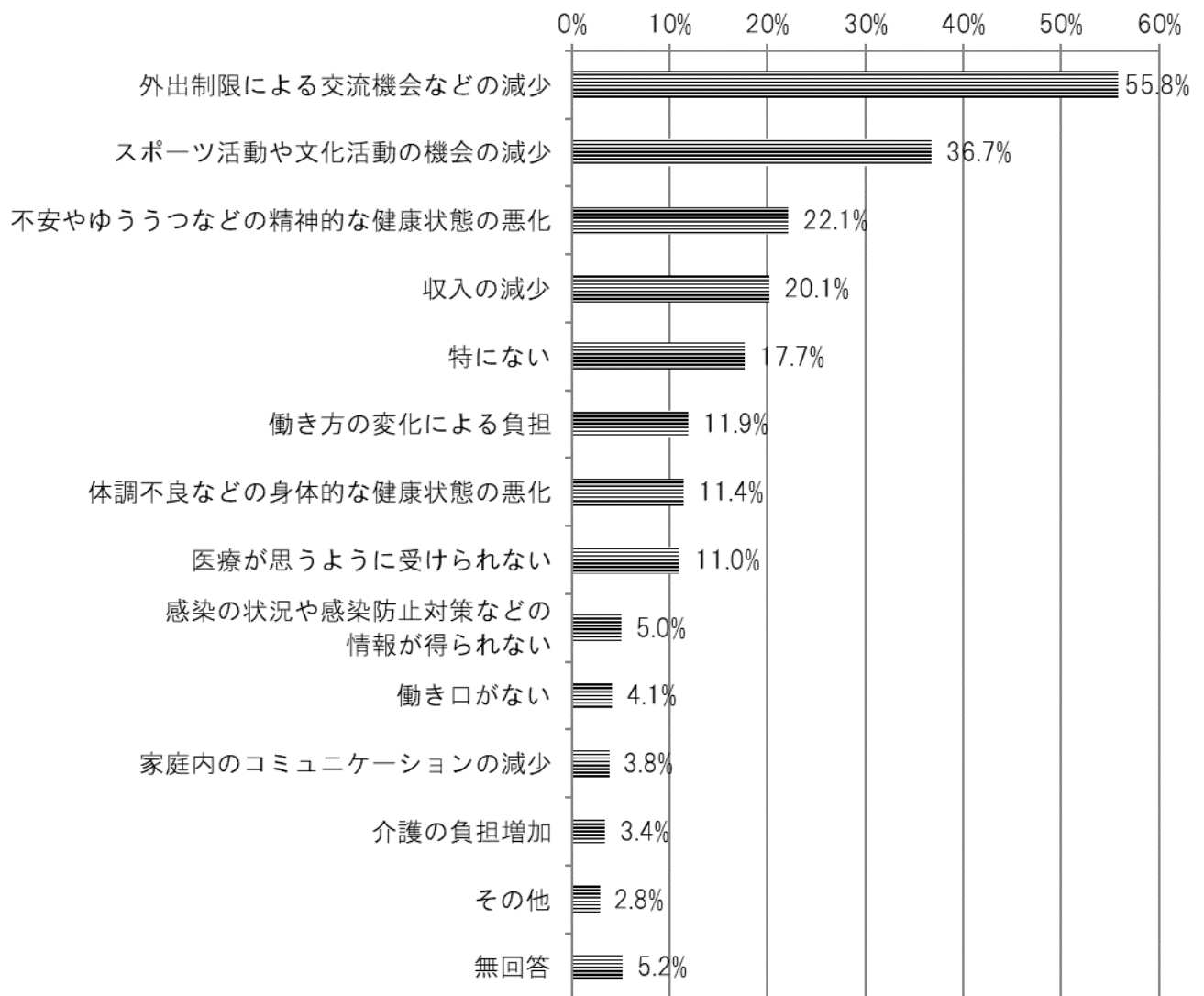


(N=70)

○コロナ禍での困りごと・心配ごと

問7 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、あなたの世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA)

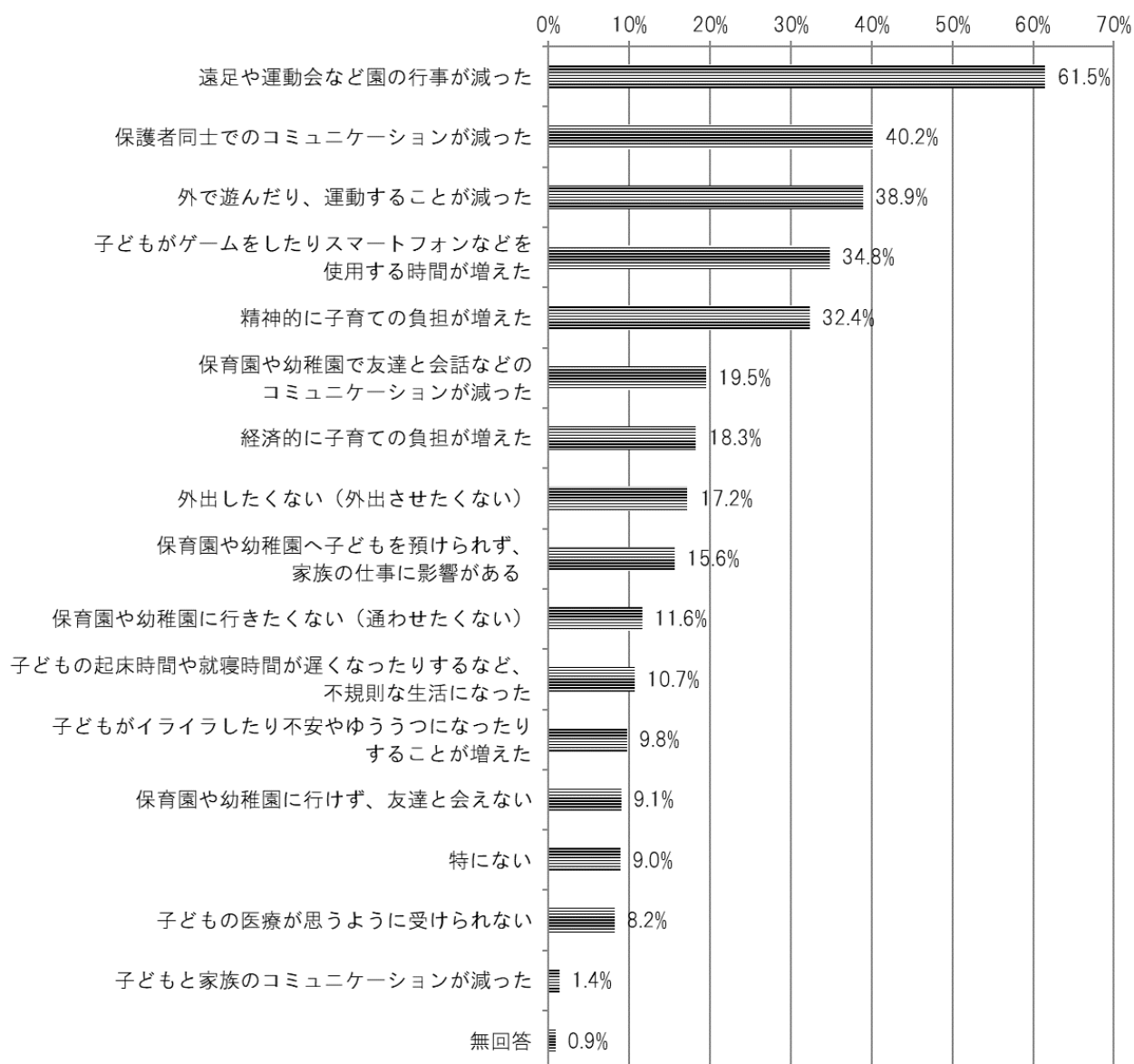
- 「外出制限による交流機会などの減少」が 55.8%と最も高く、次いで「スポーツ活動や文化活動の機会の減少」が 36.7%、「不安やうつなどの精神的な健康状態の悪化」が 22.1%、「収入の減少」が 20.1%となっている。



(N=13,152)

問8-a 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、“18歳未満の子ども(以下 a~d)や65歳以上の高齢者(以下 e)のご家族がいる”世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA) (“a.未就学児の子ども” およびそのご家族の方)

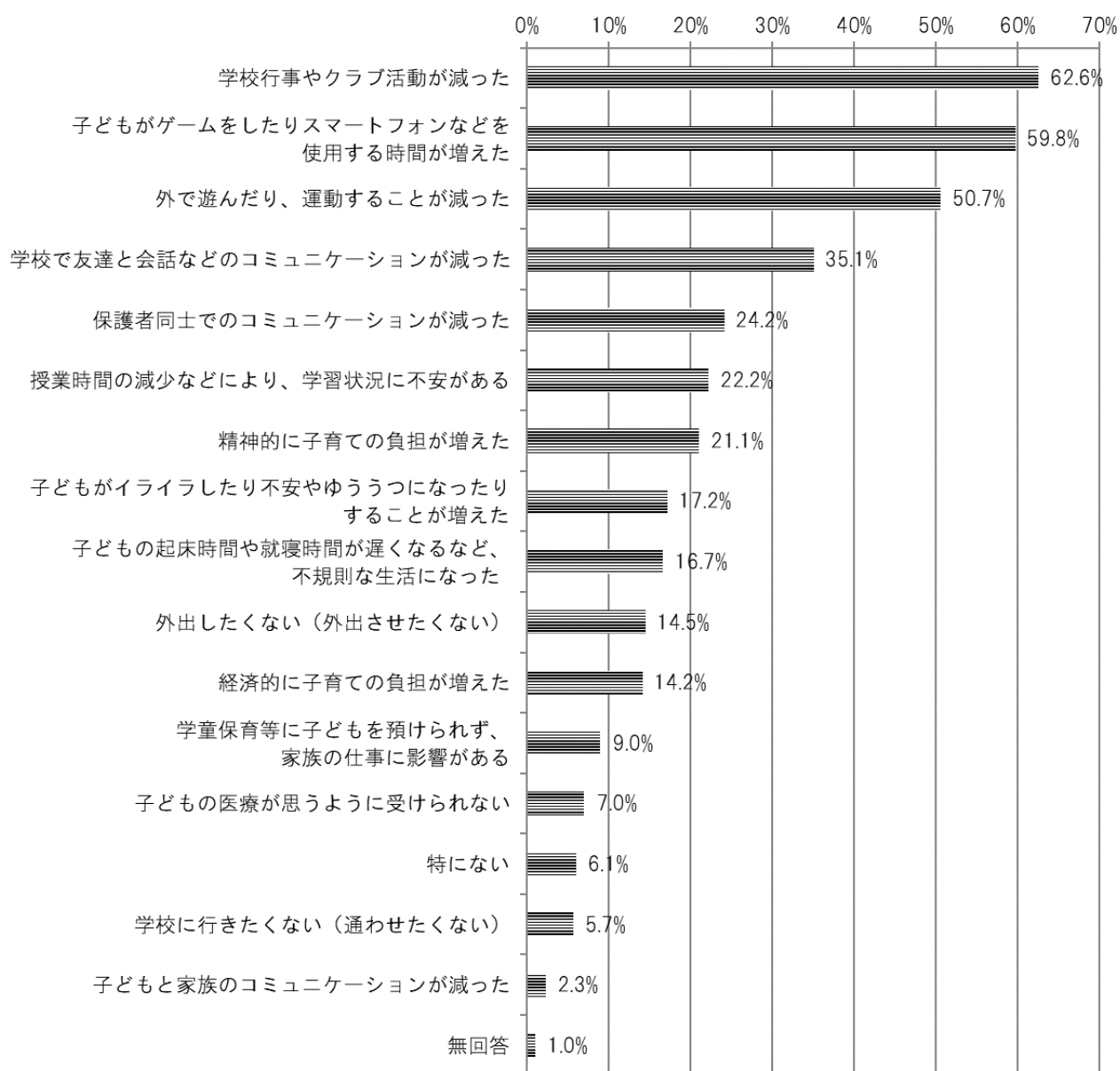
□ 「遠足や運動会など園の行事が減った」が61.5%と最も高く、次いで「保護者同士でのコミュニケーションが減った」が40.2%、「外で遊んだり、運動することが減った」が38.9%、「子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた」が34.8%となっている。



(N=1,323)

問8-b 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、“18歳未満の子ども(以下 a~d)や65歳以上の高齢者(以下 e)のご家族がいる”世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA) (“b.小学生の子ども” およびそのご家族の方)

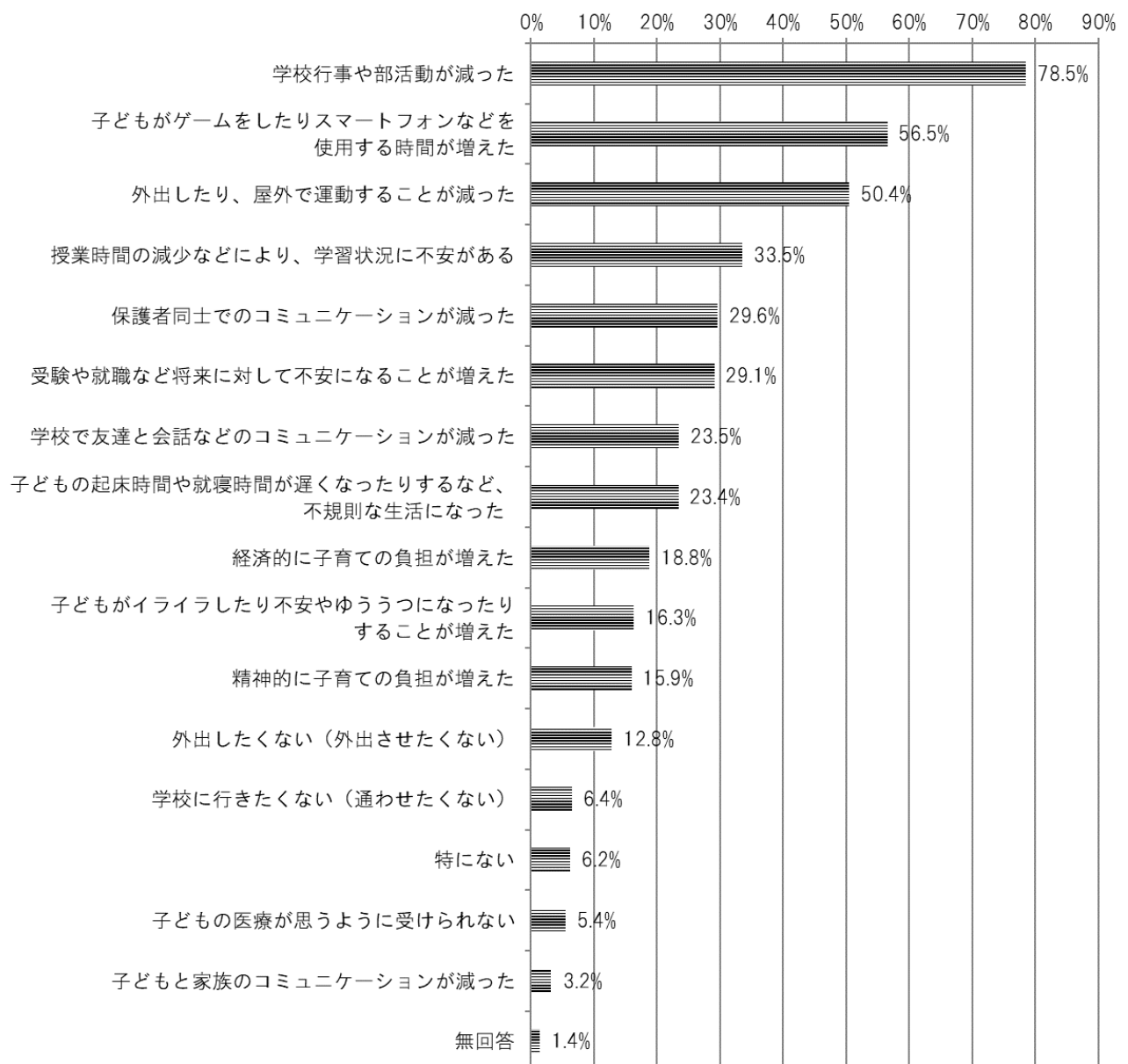
- 「学校行事やクラブ活動が減った」が62.6%と最も高く、次いで「子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた」が59.8%、「外で遊んだり、運動することが減った」が50.7%、「学校で友達と会話などのコミュニケーションが減った」が35.1%となっている。



(N=1,461)

問8-c 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、“18歳未満の子ども(以下 a~d)や65歳以上の高齢者(以下 e)のご家族がいる”世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA) (“c.中学生の子ども”およびそのご家族の方)

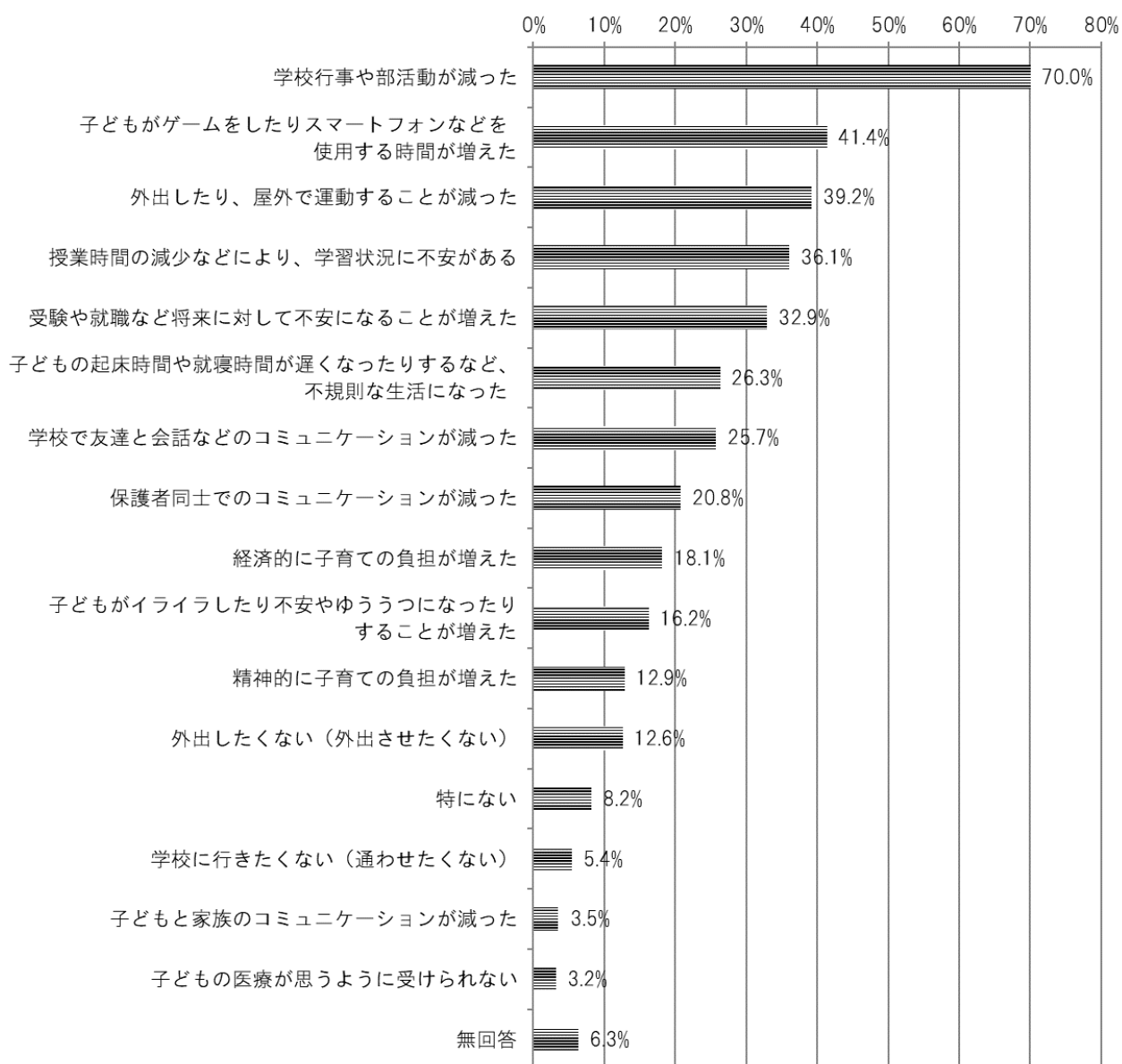
- 「学校行事や部活動が減った」が78.5%と最も高く、次いで「子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた」が56.5%、「外出したり、屋外で運動することが減った」が50.4%、「授業時間の減少などにより、学習状況に不安がある」が33.5%となっている。



(N=791)

問8-d 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、“18歳未満の子ども(以下 a~d)や65歳以上の高齢者(以下 e)のご家族がいる”世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA) (“da~c以外の18歳未満の子ども”およびそのご家族の方)

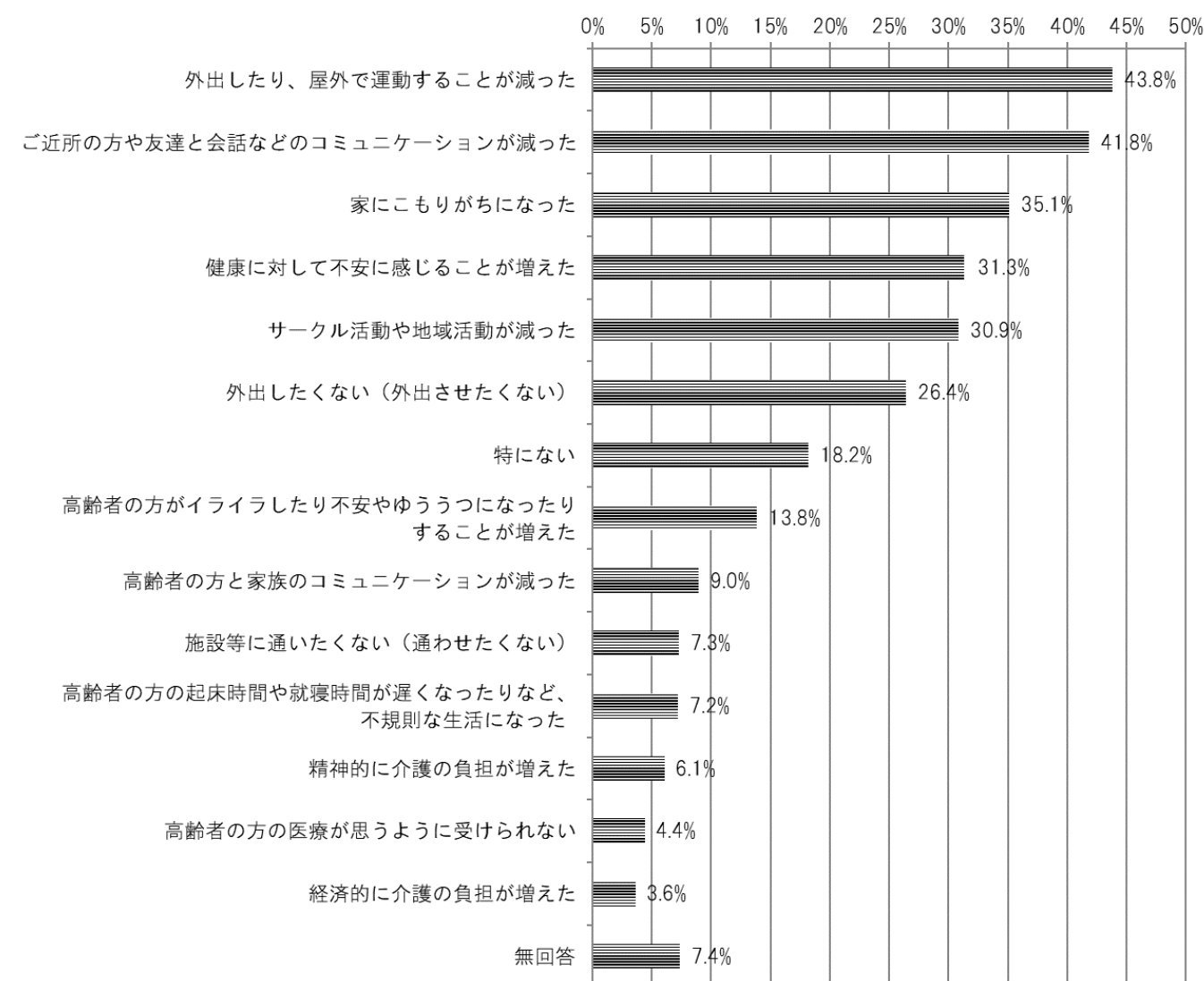
- 「学校行事や部活動が減った」が70.0%と最も高く、次いで「子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた」が41.4%、「外出したり、屋外で運動することが減った」が39.2%、「授業時間の減少などにより、学習状況に不安がある」が36.1%となっている。



(N=684)

問8-e 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、“18歳未満の子ども(以下 a~d)や65歳以上の高齢者(以下 e)のご家族がいる”世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA) (“e.65歳以上の高齢者” およびそのご家族の方)

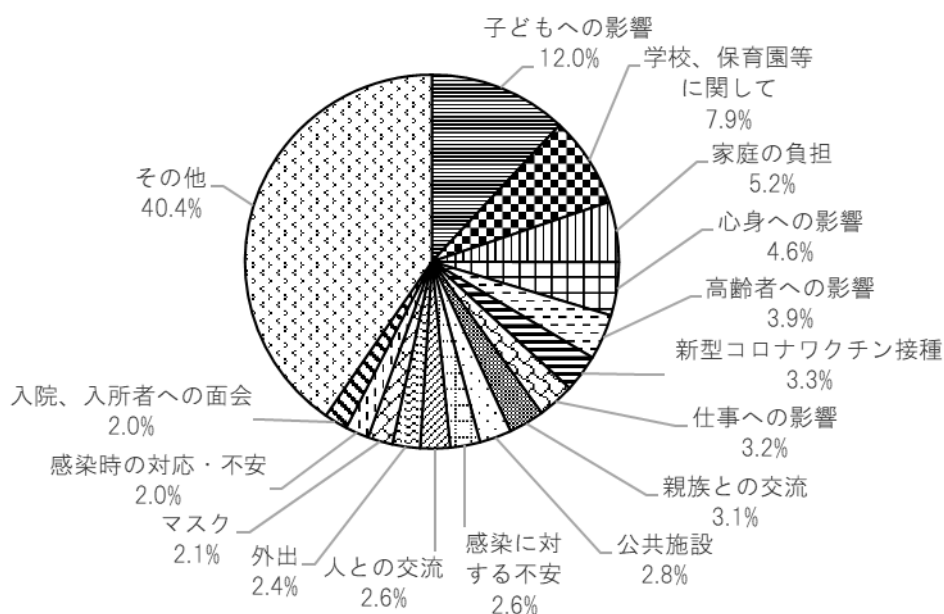
- 「外出したり、屋外で運動することが減った」が43.8%と最も高く、次いで「ご近所の方や友達と会話などのコミュニケーションが減った」が41.8%、「家にこもりがちになった」が35.1%、「健康に対して不安に感じるが増えた」が31.3%となっている。



(N=5,312)

問9 その他、“a から e のご家族がいる”世帯ならではの気づきの点やお困りの点がございましたらご自由にお書きください。

□ 自由意見は以下のとおり分類された。



(N=1,629)

【子どもへの影響に関する主な意見】

- 学校が再開するまで在宅での学習となり、規則正しい生活ができず、運動不足になったため、精神的にも肉体的にもあまりいい状態ではなくなってしまった。学校再開後も、普段の日常に戻るまでに時間を要しました。
- 子どもが給食で、おしゃべりしながら食べることを注意されてるため、食べる楽しさが少なくなっていることが心配。
- 友達同士で出掛ける地域の行事（お祭り）などが無くなり、子どもが家にこもるようになった。
- 勉強の遅れ。ひとり親家庭の為、塾に通わせる事もできず、仕事で勉強を見てあげる事もできない。
- 学校や学童以外で子どもたちが遊ぶ機会がない。お友達の家に遊びに行かせるのも、家に呼ぶのも気が引ける。

【学校、保育園等に関する主な意見】

- 学校や幼稚園・保育園の行事が減り、休日に友達と遊ぶことも減り、子どもたちの生活にメリハリがなくなった気がします。
- 給食時の黙食など、子どもたちは感染対策をよくやっていると思います。もちろん感染への不安は消えませんが、学校生活をより充実したものになるようにお願いしたいです。
- 分散登校、行事の工夫、感染対策など、よくやってくださっていると思う。オンライン授業やタブレットの活用については、導入途中という感じであり、今後の充実を期待したい。
- 小学校は先生方が感染対策を徹底し、制限がある中でもやれる範囲で修学旅行や運動会等行事を行ってくれてとても有難く感じました。
- 入園当初からコロナによる制限や行事の延期があったので正直、今の感じが当たり前（スタンダード）になってしまっている。本当に困ったり影響を感じるのはもっと後になってからなのだと思う。

【家庭の負担に関する主な意見】

- ・毎年していたことがこの2年ほどできなくなり、子どもも親もストレスを感じている。学校等が休みだった時の食費や生活での負担が凄く多かった。
- ・夫婦二人でいる時間が増えて、外出等も自粛したのでお互いにストレスがたまりやすくなった。
- ・外食をほぼしなくなったので、家事（食事づくり）が増えました。
- ・家族全員が家にいることで自分の時間や居場所がなくなり食事等の負担が増えた。また、外出・外食がなくなり精神的な閉塞感が増した。
- ・実家の親に子守がお願いできなくなり、負担が増えた。

【心身への影響に関する主な意見】

- ・家族が全員50歳以上であり、体力の低下による健康不安が大きくなった。
- ・刺激になるような事が減ったせいか、忘れっぽくなった。
- ・孤独を感じる（在宅で老親と生活）。
- ・毎日家にいる事が多いのでストレスがたまってきて、健康に不安を感じている。
- ・罹患を恐れるが為、外出をしなくなったせいで足腰が鈍り、短時間の歩行で足痛を訴えるようになった。

【高齢者への影響に関する主な意見】

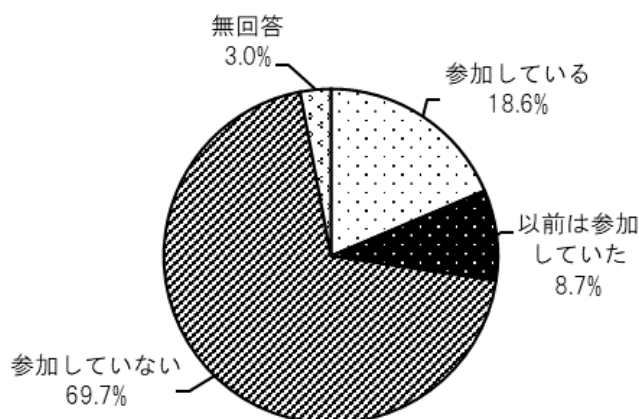
- ・80歳の母の地域コミュニケーションがなく、家に閉じこもりがちになってしまう。
- ・デイサービス等がなくなる等（コロナ等で）シニアのコミュニケーションが少なくなる。
- ・高齢者二人の生活なので何もかも不安。
- ・母が認知症なので生活行動が気になる。
- ・同居の高齢者が外出の機会が激減した為にコロナ以前よりも歩行がぎこちなくなった様に思える。

○ボランティア活動・地域活動への参加状況

問 10 あなたの世帯は「ボランティア活動」や「地域活動（町内会や子ども会の活動など）」に参加していますか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)

※世帯の方が1人でも参加している場合は“1”（参加している）を、参加していた場合は“2”（以前は参加していた）を選択してください。

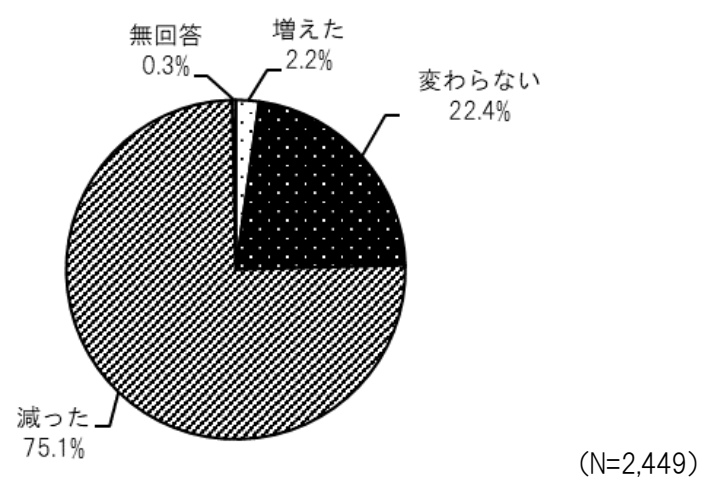
- 「参加していない」が69.7%と最も高く、次いで「参加している」が18.6%、「以前は参加していた」が8.7%となっている。



(N=13,152)

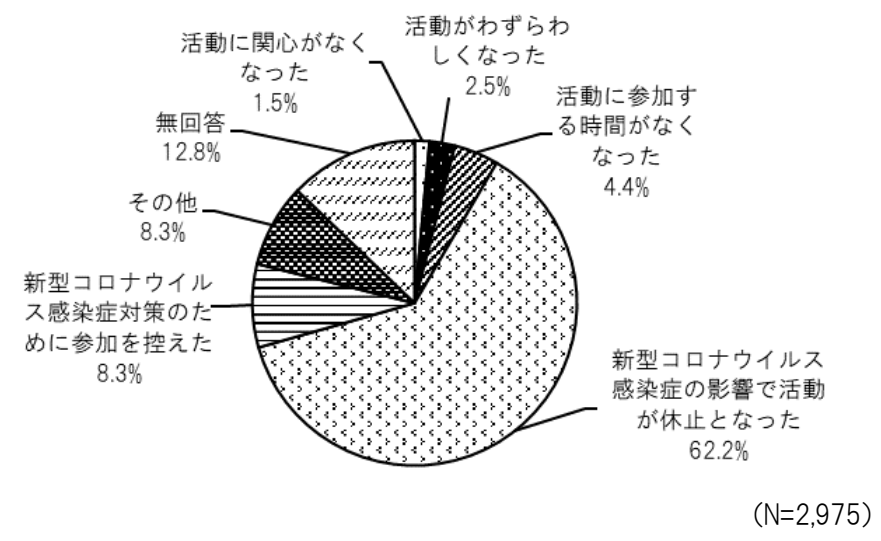
問 10-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、参加回数は変わりましたか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)
 ※問 10で“1”(参加している)を選択された方におたずねします。

□ 「減った」が75.1%と最も高く、次いで「変わらない」が22.4%、「増えた」が2.2%となっている。



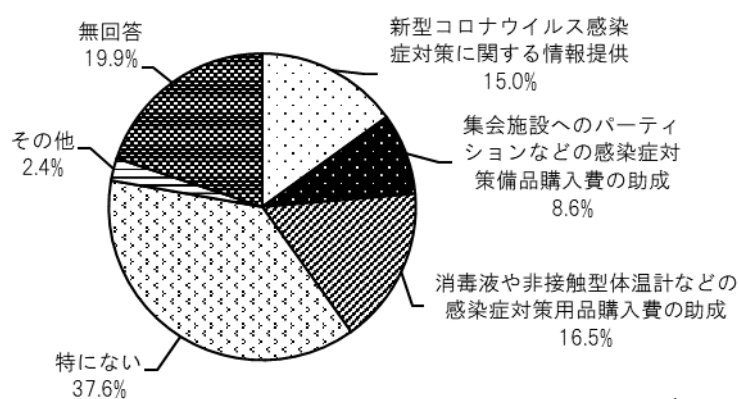
問 10-2 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)
 ※問 10で“2”(以前は参加していた)を選択された方または問 10-1で“3”(減った)を選択された方におたずねします。

□ 「新型コロナウイルス感染症の影響で活動が休止となった」が62.2%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症対策のために参加を控えた」が8.3%、「活動に参加する時間がなくなった」が4.4%、「活動がわずらわしくなった」が2.5%となっている。



問 11 コロナ禍において「ボランティア活動」や「地域活動（町内会や子ども会の活動など）」に参加するために、市に求める支援は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。(SA)

- 「特にない」が 37.6%と最も高く、次いで「消毒液や非接触型体温計などの感染症対策用品購入費の助成」が 16.5%、「新型コロナウイルス感染症対策に関する情報提供」が 15.0%、「集会施設へのパーティションなどの感染症対策備品購入費の助成」が 8.6%となっている。

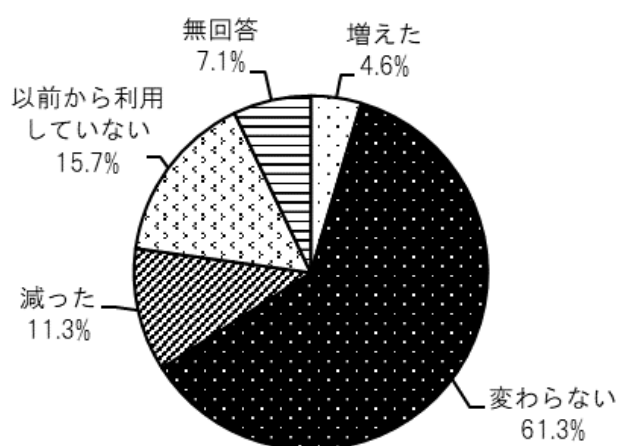


(N=13,152)

○商店等の利用

問 12-a 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、それぞれの項目についてあなたの世帯の利用状況はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (a. 地域の商店街および個人商店等)

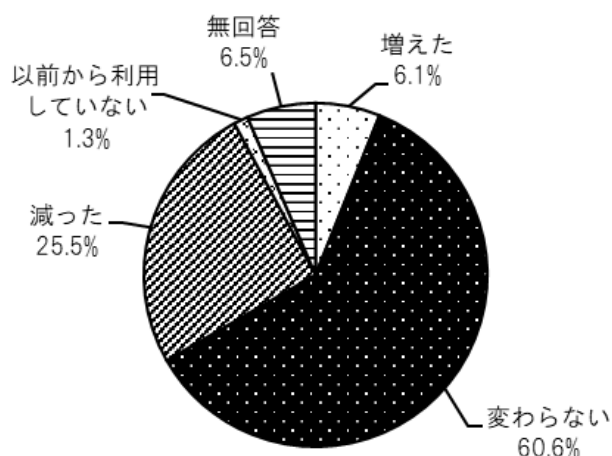
- 「変わらない」が 61.3%と最も高く、次いで「以前から利用していない」が 15.7%、「減った」が 11.3%、「増えた」が 4.6%となっている。



(N=13,152)

問 12-b 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、それぞれの項目についてあなたの世帯の利用状況はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (b. 大型店・チェーン店)

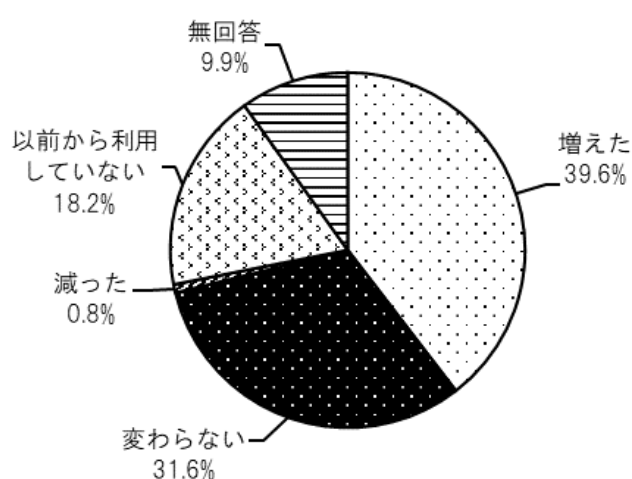
- 「変わらない」が60.6%と最も高く、次いで「減った」が25.5%、「増えた」が6.1%、「以前から利用していない」が1.3%となっている。



(N=13,152)

問 12-c 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、それぞれの項目についてあなたの世帯の利用状況はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。(SA) (c. ネット通販)

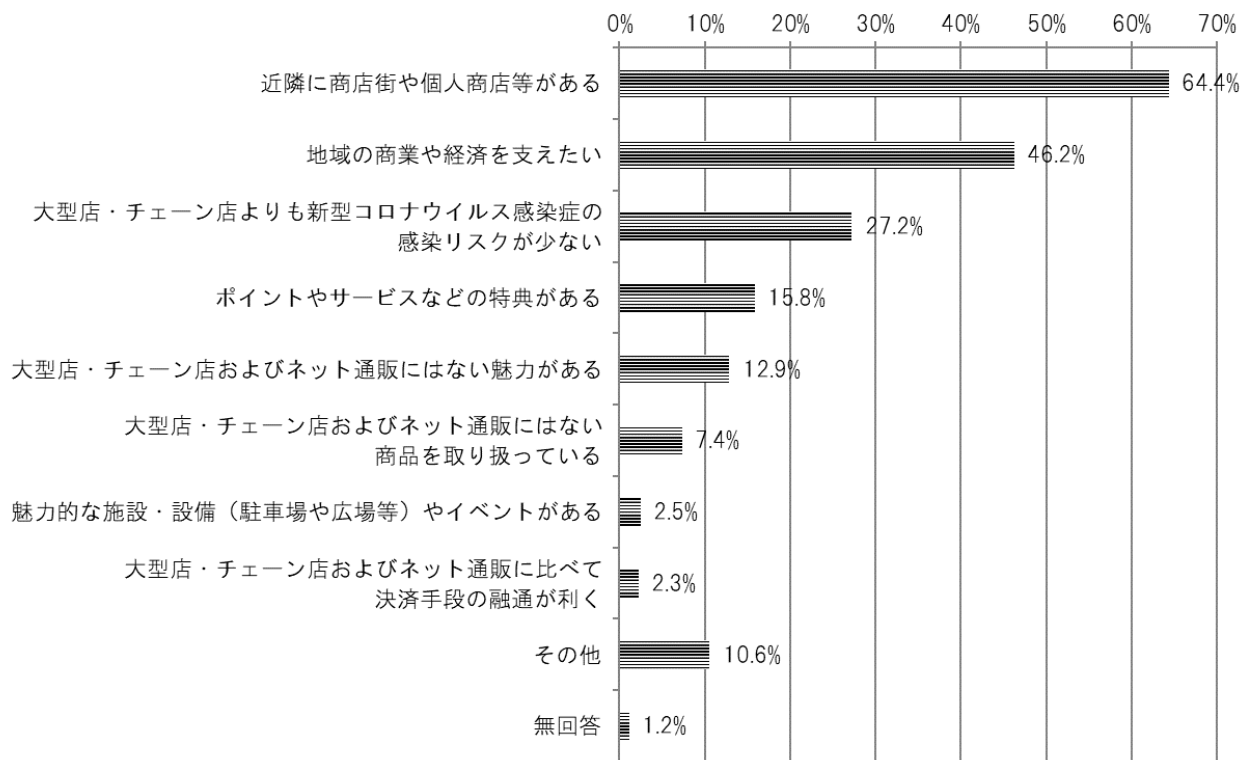
- 「増えた」が39.6%と最も高く、次いで「変わらない」が31.6%、「以前から利用していない」が18.2%、「減った」が0.8%となっている。



(N=13,152)

問 12-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA)
 ※問12の「1. 地域の商店街および個人商店等」で“1”(増えた)を選択された方におたずねします。

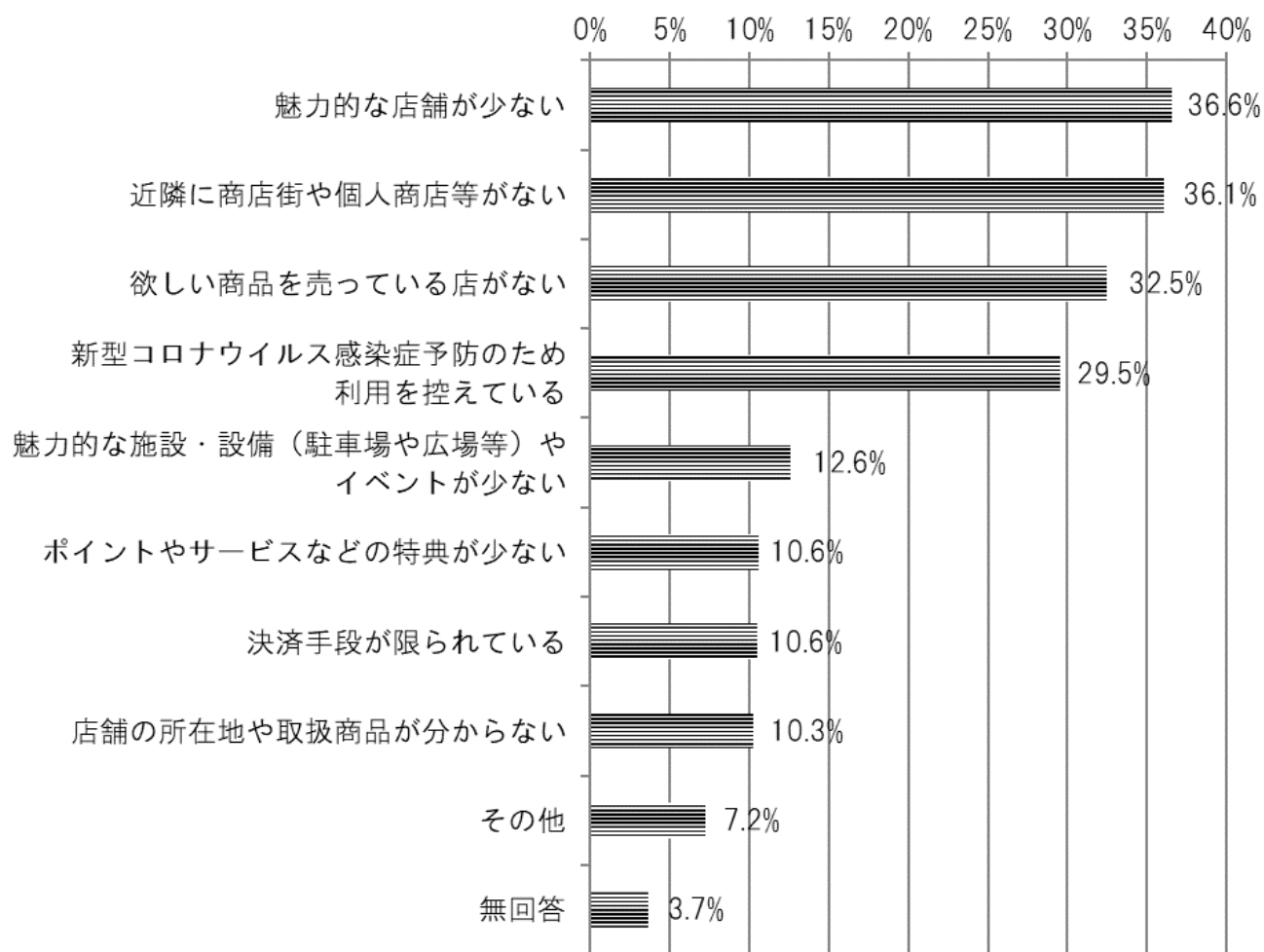
- 「近隣に商店街や個人商店等がある」が 64.4%と最も高く、次いで「地域の商業や経済を支えたい」が 46.2%、「大型店・チェーン店よりも新型コロナウイルス感染症の感染リスクが少ない」が 27.2%、「ポイントやサービスなどの特典がある」が 15.8%となっている。



(N=606)

問 12-2 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号をすべて選択してください。(MA)
 ※問12の「1. 地域の商店街および個人商店等」で“3”(減った)または“4”(以前から利用していない)を選択された方におたずねします。

- 「魅力的な店舗が少ない」が36.6%と最も高く、次いで「近隣に商店街や個人商店等がない」が36.1%、「欲しい商品が売っている店がない」が32.5%、「新型コロナウイルス感染症予防のため利用を控えている」が29.5%となっている。



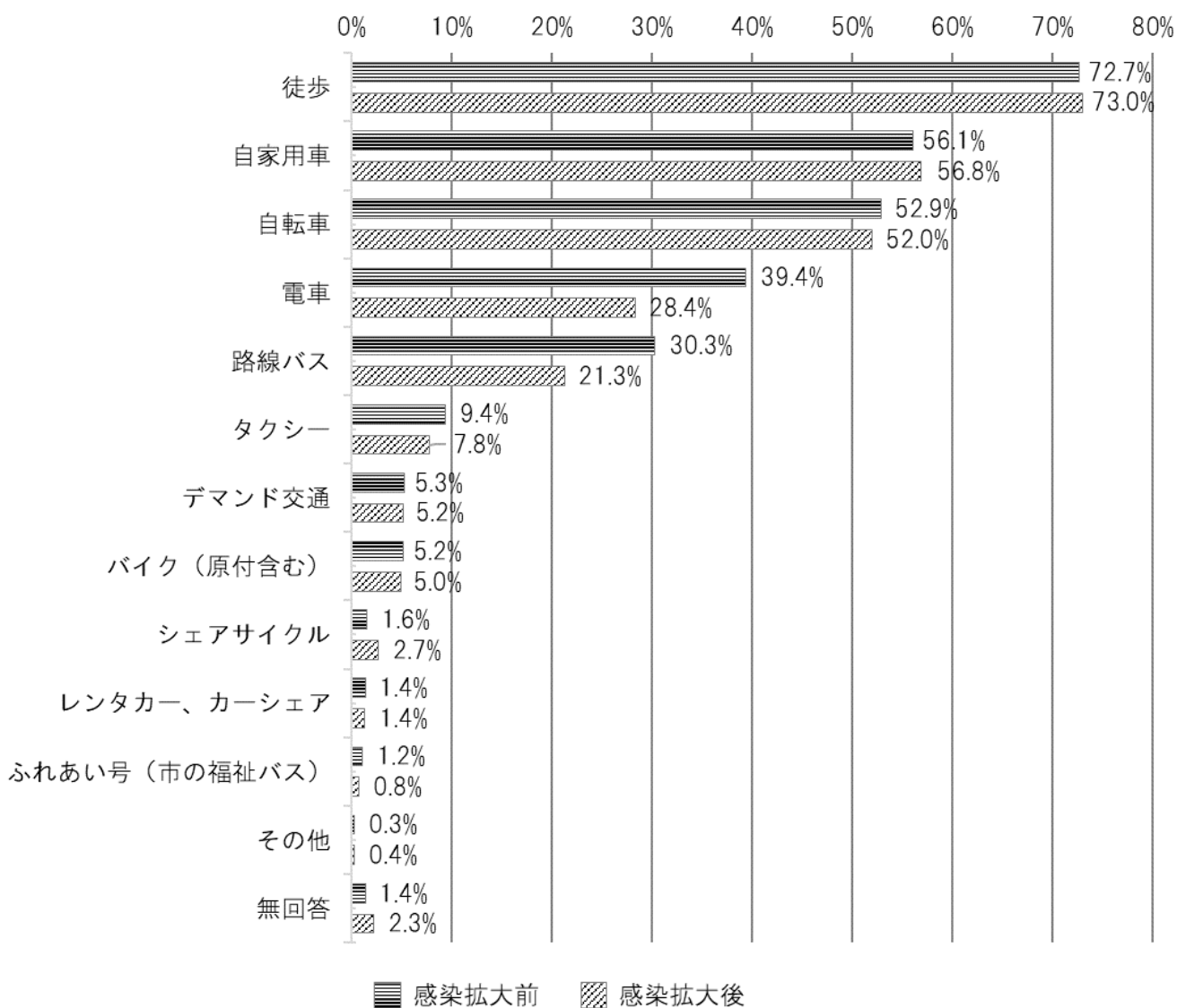
(N=3,547)

○交通手段

問 13 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と拡大後それぞれの主な移動手段についておたずねします。市内を移動する際の主な移動手段（交通手段）について、あてはまる番号をすべて選択してください。（MA）

- 新型コロナウイルス感染拡大前では「徒歩」が72.7%と最も高く、次いで「自家用車」が56.1%、「自転車」が52.9%、「電車」が39.4%となっている。

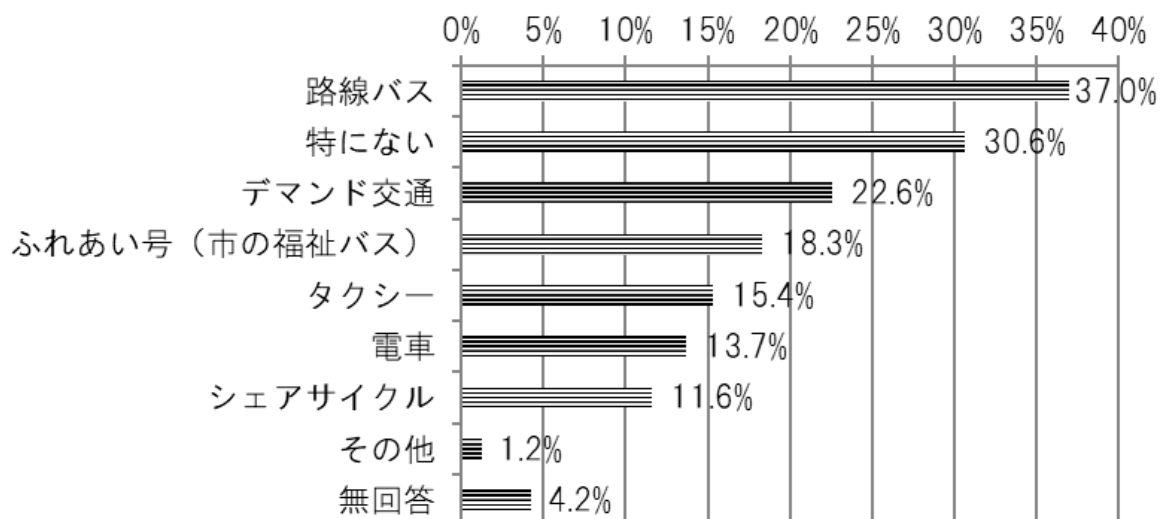
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大後では「徒歩」が73.0%と最も高く、次いで「自家用車」が56.8%、「自転車」が52.0%、「電車」が28.4%となっている。また、「電車」及び「路線バス」では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、およそ10%減少している。



(N=13,152)

問 14 市内を移動する際の公共交通サービスに期待することについておたずねします。今後、内容の拡充やサービスの向上を期待する「公共交通サービス」について、あてはまる番号をすべて選択してください。
(MA)

- 「路線バス」が37.0%と最も高く、次いで「特にない」が30.6%、「デマンド交通」が22.6%、「ふれあい号（市の福祉バス）」が18.3%となっている。



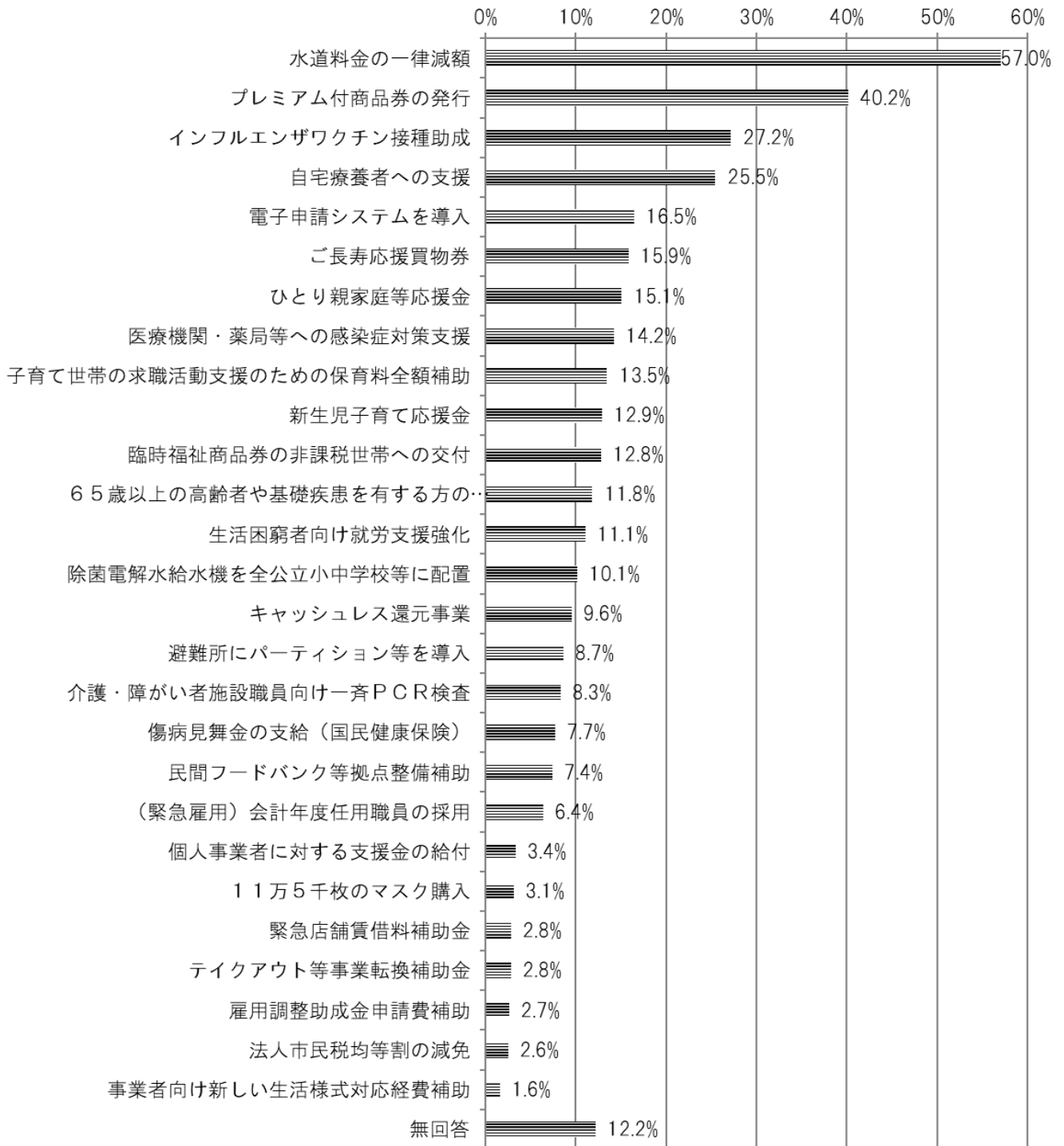
(N=13,152)

3 市の施策について

○ 市独自の緊急対策の評価

問 15 市では独自の緊急対策を実施しています。1から27の事業のうち、評価できる事業の番号を5つまで選択してください。（既に終了している事業も含まれます。）(MA)

- 「水道料金の一律減額」が57.0%と最も高く、次いで「プレミアム付商品券の発行」が40.2%、「インフルエンザワクチン接種助成」が27.2%、「自宅療養者への支援」が25.5%となっている。

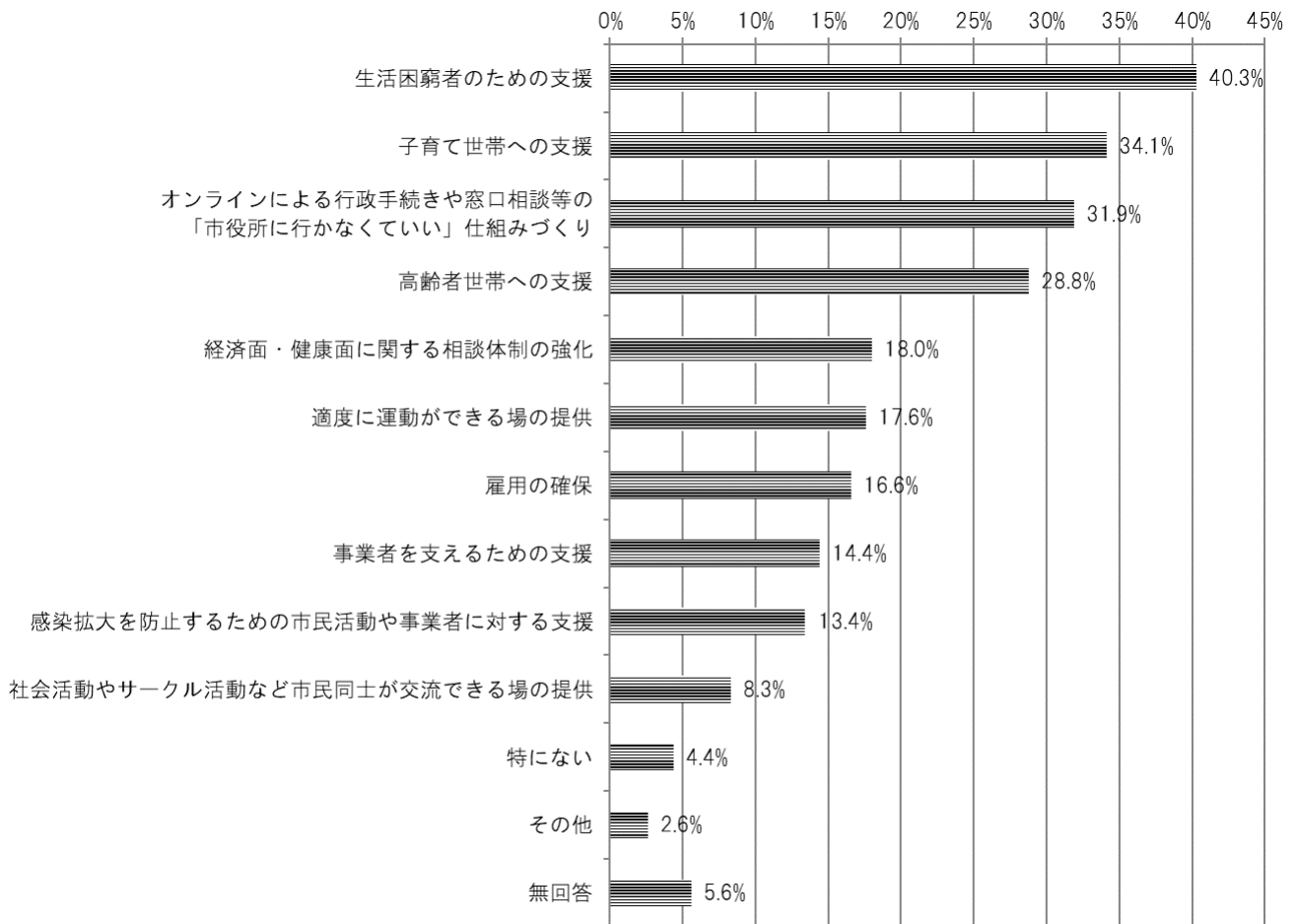


(N=13,383)

○重点的に取り組むべき施策

問 16 志木市が今後、新型コロナウイルス感染症対策として重点的に取り組むべきと思う施策についておたずねします。あてはまる番号を3つまで選択してください。(MA)

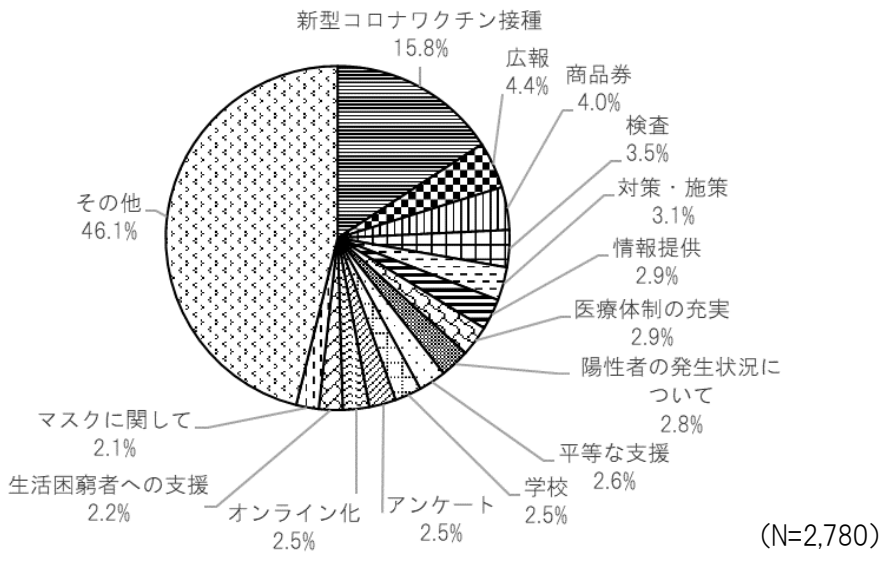
- 「生活困窮者のための支援」が40.3%と最も高く、次いで「子育て世帯への支援」が34.1%、「オンラインによる行政手続きや窓口相談等の『市役所に行かなくていい』仕組みづくり」が31.9%、「高齢者世帯への支援」が28.8%となっている。



(N=13,383)

問 17 その他、志木市の新型コロナ感染症対策についてご意見ありましたら、自由にお書きください。

自由意見は以下のとおり分類された。



【新型コロナワクチン接種に関する主な意見】

- ワクチンの予約システムは、他の市区町村に比べてわかりやすかったと思う。
- 市民のワクチン接種率を上げてください。
- ワクチンがかかりつけて接種できて安心でした。
- ワクチン接種場所をもう少し増やしてほしい。
- コロナワクチン接種時の予約状況はインターネット等出来ない高齢者にとって至難の業でした。
(遠方の子どもに頼ったり) 順番に誰でも心配なく打つ事が出来る体制の構築を考えて頂きたいと感じました。

【広報に関する主な意見】

- 志木市としてこれだけたくさんの支援をされていることをこの調査を通じて初めて知りました。ありがとうございます。
- 市の施策をもっと見える化してほしい。
- 市がやっていることをもっとアピールしてほしい。
- 市の対策についてインターネットだけでなく、紙面を使った広報もしてほしい。
- パソコンがなく、使えないため、市が何をやっているかわからない。

【商品券に関する主な意見】

- プレミアム付商品券の発行を今後も定期的に行って頂けるとありがたいです。
- プレミアム付商品券をまた出して欲しいです。意識的に志木市内の商品の購入に目を向けるようになりました。
- 子育て世帯からは、プレミアム付商品券が大変役に立った。助けられたという声が多く聞かれた。是非また実施し、市民や事業者を支える市であってほしい。
- プレミアム付商品券は、コロナにより収入が減った者としては、有難かったです。これからも続けてほしい対策の1つです。
- 志木市内店舗で使える商品券などがあったら、使ってみたいと思う。

【検査に関する主な意見】

- PCR 検査を無料にしてほしい。
- かかりつけ医で PCR 検査ができるように促進してほしい。
- 医療機関へ行かなくても手軽に PCR 検査を受ける場所（医療機関も含めて）を増やしてほしい。費用面もできるだけおさえてほしい。
- 迅速な検査体制と接種をお願いします。
- PCR 検査は高額なので、なるべく多くの方が受けられる様な補助があればいいと思う。現在の金額では受けられない方も多いと思います。

【対策・施策に関する主な意見】

- 子どもが集まる場での感染拡大防止に重点を置いてほしい。
- 制限があってもよいが、「止めない」「続ける」方向で対策願いたい。
- 人が集まる場所の感染症対策ができているかどうかの確認をしてほしい。
- 従来やっていたことに無駄がないか見直し、より良い対策に活かしてほしい。
- 個別の施策（例えば生活困窮者や高齢者、失業者）も必要だとは思いますが、全体的な施策や根本的なシステムの見直しなどによる安心を望む。

参考資料（調査票）

コロナ禍の影響に関する志木市全世帯意識調査

～調査ご協力をお願い～

日頃から、市民の皆様におかれましては、市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、全国で猛威をふるい、健康面や経済面などあらゆる分野で大きな影響を及ぼしており、本市においても、長期化するコロナ禍により市民生活や地域経済はかつてない程の影響を受けています。

このような状況を受け、コロナ禍によって生活がどのように変化し、どのような困りごとを抱えているのか。そして、どのような施策や事業が求められているのか。これらのことについて、皆様の声をお伺いし、今後の施策や事業立案の基礎資料とするために、全世帯を対象とした意識調査を実施することとしました。

この調査は、「配達地域指定郵便物」を利用して全世帯（事業所等を含む）にお送りしています。世帯の状況についての質問となっていますので、是非、ご家族で相談しながらご回答ください。

なお、本調査は無記名回答方式のため、個人に関わる情報が公表されることは決してございません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

令和3年10月

志木市長 香川 武文

ご回答にあたってのお願い

- ・世帯単位での調査となりますので、ご家族で相談しながらご回答ください。
 - ・本調査は、調査票にご記入いただく方法と、インターネットでご回答いただく方法（詳細は次のページを参照）の2つの方法から回答しやすい方法をお選びください。
- ＜調査票にご記入後投函いただく場合の留意点＞
- ・ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
 - ・ご回答は、あてはまる回答番号に〇をつけてください。また、記入方法が指定された項目およびその他をお選びいただいた場合は、() 内に具体的な数字や内容を記入してください。
 - ・ご提出はこの冊子ごと、同封の返信用封筒に入れ、【11月22日（月）】までに切手を貼らずに投函してください。
 - ・調査票および封筒には、住所・氏名をご記入いただく必要はありません。
 - ・ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

＜連絡先＞

志木市 市長公室 秘書政策課

電話：048-473-1111（代表）内線2212・2215・2216

E-mail：seisaku@city.shiki.lg.jp



回答 I D OOOOOO

※回答 I D は重複回答を防ぐために使用するもので、個人を特定するものではありません。

スマホ・タブレット・パソコンからでもOK！

インターネットでも回答ができます！

1. インターネットで回答していただく場合、下記を参照して、回答フォームへアクセスしてください。

■右のQRコードをスマートフォン等で読み取る

■志木市ホームページ (<https://www.city.shiki.lg.jp>) トップページ
の注目情報より「志木市全世帯意識調査」をクリック

■ブラウザのアドレスバーに

「<https://logoform.jp/f/OehDu>」を入力



2. 表紙（前ページ）の一番下の「回答ID」（6桁の英数字）を入力してください。
3. 回答を入力してください。
4. すべての入力が終わったら、「→確認画面へ進む」ボタンを押して、回答内容を確認してください。最後に「→送信」ボタンを押して回答完了です！



※「入力内容を一時保存する」ボタンを押すと、いつでも続きから回答することができます。

全世帯意識調査 調査票

1

あなた（回答者）の世帯について

問1 あなたを含めた世帯の人数についておたずねします。それぞれの項目について人数を記入してください。（居住者のいない事業所の場合は、“2”を選択してください。）

1. あなたを含めて（ ）人
- a. うち未就学児の子ども （ ）人
 - b. うち小学生の子ども （ ）人
 - c. うち中学生の子ども （ ）人
 - d. うちa～c以外の18歳未満の子ども （ ）人
 - e. うち65歳以上の高齢者 （ ）人

2. 事業所である（※居住者なし）

問2 あなたの世帯のお住まいの地域をおたずねします。あてはまる番号を1つ選択してください。

（問1で“2”を選択された場合は、事業所の所在地について選択し、問15へお進みください。）

- | | |
|--------|--------|
| 1. 上宗岡 | 2. 中宗岡 |
| 3. 下宗岡 | 4. 本町 |
| 5. 幸町 | 6. 館 |
| 7. 柏町 | |

問3 あなたの世帯の主な収入者のご職業をおたずねします。あてはまる番号を1つ選択してください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員・団体職員（役員含む） |
| 3. 公務員 | 4. 派遣社員・契約社員 |
| 5. パート・アルバイト | 6. 働いている人はいない |
| 7. その他（ ） | |

2 新型コロナウイルス感染症による影響について

※この設問は新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和元年以前）の状況と比べて、お答えください。

問4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の主な収入者の収入は変わりましたか。あてはまる番号を1つ選択してください。

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った⇒問4-1へ

※問4で“3”を選択された方におたずねします。

問4-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。

1. 勤務先の倒産⇒問4-2へ 2. 勤務先の経営状況の悪化⇒問4-2へ
3. 勤務時間の減少 ⇒問4-2へ 4. 勤務先の都合による解雇⇒問4-2へ
5. 自己都合による退職⇒問4-2へ 6. 休職⇒問4-2へ
7. 定年による退職 8. その他（ ）⇒問4-2へ

※問4-1で“1～6”および“8”を選択された方におたずねします。

問4-2 その理由は新型コロナウイルス感染症の影響によるものですか。あてはまる番号を1つ選択してください。

1. はい 2. いいえ 3. 分からない

※問3で“1～5”および“7”を選択された方におたずねします。

問5 あなたの世帯の主な収入者のテレワークの実施状況についておたずねします。あてはまる番号を1つ選択してください。

1. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前から実施している
2. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大後から実施している
3. 実施していない⇒問5-1へ

※問5で“3”を選択された方におたずねします。

問5-1 実施していない理由は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。

1. 勤務先の制度（体制）が整っていない
2. 業種上、テレワークが困難（例：店舗での勤務など）
3. 自宅で実施する環境が整えられない
4. 実施できる環境は整備されているが自宅で仕事をしたくない
5. その他（ ）

問6 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、あなたの世帯の生活はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。

	増えた	変わらない	減った	その行動は以前から行っていない
a. 生活必需品などを購入するための外出	1	2	3	4
b. 旅行や観光など娯楽のための外出	1	2	3	4
c. 医療機関や健診を受診するための外出	1	2	3	4
d. 人とのコミュニケーション	1	2	3	4
e. 運動量	1	2	3	4
f. 外食	1	2	3	4
g. デリバリー(出前)などの宅配サービスの利用	1	2	3	4
h. 飲酒の量	1	2	3	4
i. 喫煙の量	1	2	3	4
j. 健康について考える機会	1	2	3	4
k. 電子マネーの利用	1	2	3	4
l. 在宅時間	1	2	3	
m. 余暇等の自由な時間	1	2	3	
n. 睡眠時間	1	2	3	
o. その他 ()	1		3	

問7 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、あなたの世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。

1. 外出制限による交流機会などの減少
2. スポーツ活動や文化活動の機会の減少
3. 収入の減少
4. 働き方の変化による負担
5. 働き口がない
6. 感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない
7. 医療が思うように受けられない
8. 体調不良などの身体的な健康状態の悪化
9. 不安やゆううつなどの精神的な健康状態の悪化
10. 家庭内のコミュニケーションの減少
11. 介護の負担増加
12. 特にない
13. その他 ()

※問1で“aからeのご家族がいる”世帯におたずねします。

問8 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、“18歳未満の子ども(以下a～d)や65歳以上の高齢者(以下e)のご家族がいる”世帯で「困っていること・心配なこと」はありますか。あてはまる番号をすべて選択してください。(この項目は対象のご家族の方と一緒に教えてください)

“a.未就学児の子ども”およびそのご家族の方

1. 保育園や幼稚園に行きたくない(通わせたくない)
2. 外出したくない(外出させたくない)
3. 保育園や幼稚園へ子どもを預けられず、家族の仕事に影響がある
4. 保育園や幼稚園に行けず、友達と会えない
5. 保育園や幼稚園で友達と会話などのコミュニケーションが減った
6. 遠足や運動会など園の行事が減った
7. 外で遊んだり、運動することが減った
8. 子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた
9. 子どもと家族のコミュニケーションが減った
10. 保護者同士でのコミュニケーションが減った
11. 経済的に子育ての負担が増えた
12. 精神的に子育ての負担が増えた
13. 子どもの医療が思うように受けられない
14. 子どもの起床時間や就寝時間が遅くなったりするなど、不規則な生活になった
15. 子どもがイライラしたり不安やゆううつになったりすることが増えた
16. 特にない

“b.小学生の子ども” およびそのご家族の方

1. 学校に行きたくない（通わせたくない）
2. 外出したくない（外出させたくない）
3. 学童保育等に子どもを預けられず、家族の仕事に影響がある
4. 学校で友達と会話などのコミュニケーションが減った
5. 授業時間の減少などにより、学習状況に不安がある
6. 学校行事やクラブ活動が減った
7. 外で遊んだり、運動することが減った
8. 子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた
9. 子どもと家族のコミュニケーションが減った
10. 保護者同士でのコミュニケーションが減った
11. 経済的に子育ての負担が増えた
12. 精神的に子育ての負担が増えた
13. 子どもの医療が思うように受けられない
14. 子どもの起床時間や就寝時間が遅くなるなど、不規則な生活になった
15. 子どもがイライラしたり不安やゆううつになったりすることが増えた
16. 特にない

“c.中学生の子ども” およびそのご家族の方

1. 学校に行きたくない（通わせたくない）
2. 外出したくない（外出させたくない）
3. 学校で友達と会話などのコミュニケーションが減った
4. 授業時間の減少などにより、学習状況に不安がある
5. 受験や就職など将来に対して不安になることが増えた
6. 学校行事や部活動が減った
7. 外出したり、屋外で運動することが減った
8. 子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた
9. 子どもと家族のコミュニケーションが減った
10. 保護者同士でのコミュニケーションが減った
11. 経済的に子育ての負担が増えた
12. 精神的に子育ての負担が増えた
13. 子どもの医療が思うように受けられない
14. 子どもの起床時間や就寝時間が遅くなったりするなど、不規則な生活になった
15. 子どもがイライラしたり不安やゆううつになったりすることが増えた
16. 特にない

“d.a～c以外の18歳未満の子ども” およびそのご家族の方

1. 学校に行きたくない（通わせたくない）
2. 外出したくない（外出させたくない）
3. 学校で友達と会話などのコミュニケーションが減った
4. 授業時間の減少などにより、学習状況に不安がある
5. 受験や就職など将来に対して不安になることが増えた
6. 学校行事や部活動が減った
7. 外出したり、屋外で運動することが減った
8. 子どもがゲームをしたりスマートフォンなどを使用する時間が増えた
9. 子どもと家族のコミュニケーションが減った
10. 保護者同士でのコミュニケーションが減った
11. 経済的に子育ての負担が増えた
12. 精神的に子育ての負担が増えた
13. 子どもの医療が思うように受けられない
14. 子どもの起床時間や就寝時間が遅くなったりするなど、不規則な生活になった
15. 子どもがイライラしたり不安やゆううつになったりすることが増えた
16. 特にない

“e.65歳以上の高齢者” およびそのご家族の方

1. 外出したくない（外出させたくない）
2. 施設等に通いたくない（通わせたくない）
3. ご近所の方や友達と会話などのコミュニケーションが減った
4. サークル活動や地域活動が減った
5. 外出したり、屋外で運動することが減った
6. 家にこもりがちになった
7. 健康に対して不安に感じるが増えた
8. 高齢者の方と家族のコミュニケーションが減った
9. 経済的に介護の負担が増えた
10. 精神的に介護の負担が増えた
11. 高齢者の方の医療が思うように受けられない
12. 高齢者の方の起床時間や就寝時間が遅くなったりなど、不規則な生活になった
13. 高齢者の方がイライラしたり不安やゆううつになったりすることが増えた
14. 特にない

※問1で“aからeのご家族がいる”世帯におたずねします。

問9 その他、“aからeのご家族がいる”世帯ならではの気づきの点やお困りの点がございましたらご自由にお書きください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

問10 あなたの世帯は「ボランティア活動」や「地域活動(町内会や子ども会の活動など)」に参加していますか。あてはまる番号を1つ選択してください。

※世帯の方が1人でも参加している場合は“1”を、参加していた場合は“2”を選択してください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 参加している⇒問10-1へ | 2. 以前は参加していた⇒問10-2へ |
| 3. 参加していない | |

※問10で“1”を選択された方におたずねします。

問10-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、参加回数は変わりましたか。あてはまる番号を1つ選択してください。

- | | | |
|--------|----------|---------------|
| 1. 増えた | 2. 変わらない | 3. 減った⇒問10-2へ |
|--------|----------|---------------|

※問 10 で “2” を選択された方または問 10-1 で “3” を選択された方におたずねします。

問 10-2 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。

1. 活動に関心がなくなった
2. 活動がわずらわしくなった
3. 活動に参加する時間がなくなった
4. 新型コロナウイルス感染症の影響で活動が休止となった
5. 新型コロナウイルス感染症対策のために参加を控えた
6. その他 ()

問 11 コロナ禍において「ボランティア活動」や「地域活動（町内会や子ども会の活動など）」に参加するために、市に求める支援は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選択してください。

1. 新型コロナウイルス感染症対策に関する情報提供
2. 集会施設へのパーティションなどの感染症対策備品購入費の助成
3. 消毒液や非接触型体温計などの感染症対策用品購入費の助成
4. 特にない
5. その他 ()

問 12 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、それぞれの項目についてあなたの世帯の利用状況はどのように変わりましたか。各項目について、今のあなたの世帯の状況にもっとも近い番号を1つ選択してください。

	増えた	変わらない	減った	以前から利用していない
a. 地域の商店街および個人商店等	1 ⇒問12-1へ	2	3 ⇒問12-2へ	4 ⇒問12-2へ
b. 大型店・チェーン店	1	2	3	4
c. ネット通販	1	2	3	4

※問12の「1. 地域の商店街および個人商店等」で“1”を選択された方におたずねします。

問12-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号をすべて選択してください。

1. 近隣に商店街や個人商店等がある
2. 大型店・チェーン店およびネット通販にはない商品を取り扱っている
3. 大型店・チェーン店およびネット通販に比べて決済手段の融通が利く
4. 大型店・チェーン店およびネット通販にはない魅力がある
5. 地域の商業や経済を支えたい
6. 魅力的な施設・設備（駐車場や広場等）やイベントがある
7. 大型店・チェーン店よりも新型コロナウイルス感染症の感染リスクが少ない
8. ポイントやサービスなどの特典がある
9. その他（ ）

※問12の「1. 地域の商店街および個人商店等」で“3”または“4”を選択された方におたずねします。

問12-2 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号をすべて選択してください。

1. 近隣に商店街や個人商店等がない
2. 欲しい商品を売っている店がない
3. 決済手段が限られている
4. 店舗の所在地や取扱商品が分からない
5. 魅力的な店舗が少ない
6. 魅力的な施設・設備（駐車場や広場等）やイベントが少ない
7. 新型コロナウイルス感染症予防のため利用を控えている
8. ポイントやサービスなどの特典が少ない
9. その他（ ）

問13 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と拡大後それぞれの主な移動手段についておたずねします。市内を移動する際の主な移動手段（交通手段）について、あてはまる番号をすべて選択してください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前	新型コロナウイルス感染症の感染拡大後
1. 徒歩	1. 徒歩
2. 自転車	2. 自転車
3. 自家用車	3. 自家用車
4. バイク（原付含む）	4. バイク（原付含む）
5. 路線バス	5. 路線バス
6. タクシー	6. タクシー
7. 電車	7. 電車
8. レンタカー、カーシェア	8. レンタカー、カーシェア
9. シェアサイクル	9. シェアサイクル
10. デマンド交通	10. デマンド交通
11. ふれあい号（市の福祉バス）	11. ふれあい号（市の福祉バス）
12. その他（ ）	12. その他（ ）

問14 市内を移動する際の公共交通サービスに期待することについておたずねします。今後、内容の拡充やサービスの向上を期待する「公共交通サービス」について、あてはまる番号をすべて選択してください。

1. 路線バス	2. タクシー
3. デマンド交通	4. 電車
5. シェアサイクル	6. ふれあい号（市の福祉バス）
7. 特にない	8. その他（ ）

問15 市では独自の緊急対策を実施しています。1から27の事業のうち、評価できる事業の番号を5つまで選択してください。（既に終了している事業も含まれます。）

事業	内容
【市民の生活を支える】	
1. 水道料金の一律減額	市内全世帯の令和2年5月～10月検針分の水道料金基本料50%を一括減額
2. ひとり親家庭等応援金	児童扶養手当について、令和2年5月・7月分に子ども一人あたり3万円を加算給付
3. (緊急雇用) 会計年度任用職員の採用	新型コロナウイルス感染症の影響により失業された方などを、市が会計年度任用職員(パートタイム)として採用
4. 傷病見舞金の支給 (国民健康保険)	国民健康保険の被保険者のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した自営業の方等に、20万円の見舞金を支給
5. 新生児子育て応援金	国の特別定額給付金の対象とならない令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子どもの保護者に、子ども1人あたり10万円を支給
6. 臨時福祉商品券の 非課税世帯への交付	非課税世帯を対象に1世帯あたり1万5千円分の臨時福祉商品券を交付
7. ご長寿応援買物券	75歳以上の方に配布している「ご長寿応援買物券」の令和2年度配布分について2千円増額
8. 子育て世帯の 求職活動支援のための 保育料全額補助	新型コロナウイルス感染症の影響により、離職を余儀なくされた子育て世帯の方が求職活動に専念できるよう、2か月を上限として保育料を全額補助
9. 生活困窮者向け 就労支援強化	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生活困窮者の就労支援のため、専任の就労支援員を基幹福祉相談センターに配置
10. 民間フードバンク等 拠点整備補助	フードバンク・フードドライブ事業を自主事業として立ち上げる事業者に対し、拠点整備費用を補助

事業	内容
11. 自宅療養者への支援	新型コロナウイルス感染症で自宅療養をしている方へ、パルスオキシメーターの貸し出しや食料品・生活必需品を提供
【事業者を支える】	
12. 緊急店舗賃借料補助金	国の持続化給付金の給付決定を受けた事業者のうち、賃貸物件において事業を営む者に対して、月10万円・2か月分までを上限にその賃借料の1/4を補助
13. テイクアウト等事業転換補助金	テイクアウト及び宅配を始めるための費用について、10万円を限度に全額補助
14. 法人市民税均等割の減免	国の持続化給付金の給付決定を受けた法人のうち、一定の規模以下の法人について、法人市民税の均等割を減免
15. 個人事業者に対する支援金の給付	国の持続化給付金の給付決定を受けた個人事業者のうち、法人市民税の申告義務がない者に5万円の支援金を給付
16. プレミアム付商品券の発行	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の活性化や個人の消費喚起のため、プレミアム率50%のプレミアム付商品券を発行
17. キャッシュレス還元事業	市内の登録飲食店において、市が指定する民間事業者のQRコード決済を使用して支払った場合にポイントを還元
18. 事業者向け新しい生活様式対応経費補助	市内事業者に対し、テレワーク等の「新しい生活様式」に対応するための経費を30万円を限度に全額補助（全て市内事業所から調達した場合は上限額を10万円上乗せ）
19. 雇用調整助成金申請費補助 ※令和3年11月～実施予定	新型コロナウイルス感染症の影響により従業員を休業させた場合、市内事業者が雇用調整助成金等を申請する際に、社会保険労務士に支払う報酬等を1事業所あたり10万円を限度に、対象経費の2/3を補助

事業	内容
【感染拡大を防止する】	
20. 除菌電解水給水機を全公立小中学校等に配置	ドアノブや手すり等の除菌ができる除菌電解水の給水器を、市内公立小中学校と健康増進センターに配置
21. 11万5千枚のマスク購入	感染拡大防止のために、市内公立小中学校に3万5千枚を配備し、市で8万枚を備蓄
22. 避難所にパーティション等を導入	避難所での感染拡大を防止するため、避難者同士の間隔を確保し、飛沫感染を防ぐパーティション1千200張を導入
23. 電子申請システムを導入	パソコンやスマートフォンにより、市役所に行かなくても証明書等の手続きができる「スマート申請システム」の導入やLINEを活用した電子申請の実証実験を実施
24. インフルエンザワクチン接種助成	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、埼玉県が実施する65歳以上の高齢者等のインフルエンザワクチン無償接種にあわせて、市独自に妊婦、ゼロ歳児の親及び中学3年生・高校3年生等の受験生に対して無償接種を実施
25. 65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する方の不安解消のためのPCR検査助成	新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、重症化するリスクが高い高齢者等の不安を解消するため、PCR検査費用の一部を助成
26. 介護・障がい者施設職員向け一斉PCR検査	埼玉県のPCR検査の対象外となった介護・障がい者通所施設等に勤務する職員等を対象に、一斉PCR検査を実施
27. 医療機関・薬局等への感染症対策支援	地域医療の最前線で、医療提供体制確保のために感染防止の取組をしている医療機関・薬局等の支援を目的として支援金を交付

コロナ禍の影響に関する志木市全世帯意識調査

報告書

令和4年3月

発

行： 志木市 市長公室 秘書政策課
〒353-8501
志木市中宗岡 1-1-1
電話 048-473-1111（代表）